

府中市次世代育成支援行動計画事業(特定事業)の  
実施状況と評価等

新生児訪問(乳児家庭全戸訪問)								健康推進課
生後4か月までの乳児(未熟児を含む)のいる家庭を訪問し、乳児の発育・栄養・生活環境及び疾病予防等育児に必要な事項について、より適切な指導を行います。また、疾病や異常の早期発見や治療等について助言し、育児不安を解消し、安心して育児に臨むことができるように支援し、児童虐待の予防を図ります。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	新生児訪問 実人員 1,547人 延人員 1,649人	新生児訪問 実人員1,800人 延人員1,850人	新生児訪問 実人員2,172人 延人員2,265人	新生児訪問 実人員2,000人 延人員2,100人				4か月までの乳児のいる家庭の全戸訪問及び必要な家庭への支援
平成22年度の 担当課評価	平成22年度から、子育て支援課に新生児訪問につながる連絡票を設置し、より多くの訪問につなげられるよう協力体制を組んだことで、訪問数の増加につながっています。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

育児支援家庭訪問事業								子育て支援課
育児に不安や悩みを抱える家庭や、育児困難を抱える家庭に対し、支援に応じた職種の訪問員が職員に代わって定期的に家庭訪問を行い、子育ての負担や不安の軽減を図るとともに、児童虐待等の発生を未然に防ぎます。 児童福祉法の改正に伴い、第二種社会福祉事業に位置づけられたことから、子ども家庭部と福祉保健部の連携を図りながらさらに充実させていきます。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	訪問員登録者 24人 NPO団体 2団体 対象世帯 83世帯 訪問回数 1,201回	支援に応じた職種の訪問員を派遣し、家庭状況の改善と児童虐待防止を図ります。	訪問員登録者 26人 NPO団体 2団体 対象世帯 83世帯 訪問回数 923回	関係機関と連携し、支援の必要な家庭に対して支援に応じた職種の訪問員を派遣し、家庭状況の改善と児童虐待防止を図ります。				訪問員 30人 訪問世帯 90世帯 訪問事業終了ケース 45世帯 児童福祉法の改正に伴い、第二種社会福祉事業に位置づけられたことから、子ども家庭部と福祉保健部の連携を図りながらさらなる充実
平成22年度の 担当課評価	短期間では結果の出ない事業ですが、時間をかけ訪問を重ねることで家庭との信頼関係や効果の見える家庭もあり、母親の精神的な支えになる大きな役割を果たしていると考えます。また、児童福祉法の改正で、要支援の対象に加えられた特定妊婦への訪問事業についても、保健センターとの連携により数件のケースに導入することができました。頻回に訪問する家庭が少なかったことにより全体的な訪問件数は減少していますが、精神的に不安定な母親は増加しており、その支援のため保健師の訪問員を増員しました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

産前産後家庭サポート事業							子育て支援課	
妊娠中及び出産後の体調不良等により家事や育児が困難な家庭に対して援助者を派遣し、産前産後の家事及び育児の支援を行います。							継続	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	(多胎) 12世帯 156日 (単胎) 144世帯 588日	-	(多胎) 10世帯 117日 (単胎) 148世帯 709日	(多胎) 15世帯 150日 (単胎) 160世帯 730日				-
平成22年度の 担当課評価	家事や育児が困難で支援が必要な方に援助者を派遣し、育児の支援を行うことができました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

ファミリー・サポート・センター事業							子育て支援課	
育児の援助を受けたい市民と、援助を行いたい市民の間に立ち、子育てに関する相互援助活動の支援や調整を行います。また、ファミリー・サポート・センター事業の周知を図るためポスター掲示をしたり、提供会員の育成を図るため育成講習会を実施するとともに、提供会員の増加に努めます。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	会員数 1,219人 活動件数 6,628件	会員数 1,270人 活動件数 6,700件	会員数 1,385人 活動件数 5,908件	会員数 1,280人 活動件数 6,000件				年総会員数 1,500人 提供会員 400人 活動件数 7,000件
平成22年度の 担当課評価	課題である会員数は広報に工夫をしたところ増加しました。活動件数については、地震等の影響により伸びませんでした。引き続き提供会員の増加に努めてまいります。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	活動件数については、地震等の影響により伸びませんでした。							
備考								

ショートステイ								子育て支援課
保護者が出産、疾病などの理由で、子どもの養育が一時的に困難な場合に、18歳未満の子どもを泊まりがけで預かるショートステイを実施します。								継続
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	施設数 3施設 定員 12人 延べ利用人数 153人	-	施設数 3施設 定員 12人 延べ利用人数 249人	施設数 3施設 定員 12人 延べ利用人数 250人				—
平成22年度の 担当課評価	出産の前後や傷病の看護などの理由による繰り返しの利用が増加したことや、一人親の傷病による兄弟の長期間利用があったため、しらとりのショートステイの利用者が増加しました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

トワイライトステイ								子育て支援課
共働きや残業などで、恒常的に帰宅の遅い保護者に代わり施設内であずかります。学校や保育所へのお迎えと、食事などの提供も行います。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	実施施設 2施設 定員 65人 延べ利用人数 5,938人	実施施設 2施設 定員 65人 延べ利用人数 6,042人	実施施設 2施設 定員 65人 延べ利用人数 6,047人	実施施設 2施設 定員 65人 延べ利用人数 6,200人				延べ利用人数 7,000人
平成22年度の 担当課評価	高倉保育所の利用者が増加し、一方しらとりの利用者は減少しています。3月の後半は計画停電予定等で両施設ともサービスを停止しましたが、昨年より増加しました。高倉保育所では昨年に引き続き、予約の段階で定員を超えてしまうため利用できない方が出ており、2施設の有効な利用方法の検討が必要です。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

子育てひろば事業(地域子育て支援拠点事業)								子育て支援課
在宅子育て家庭の、親同士の交流や親子のふれあいの場を提供し、子育てに関する相談・助言等を行うことで子育て不安を解消します。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	子育てひろばA型 6か所(私立保育所5・市 立保育所1) 子育てひろばC型 1か所	子育てひろばA型 7か所(私立保育所6・市 立保育所1) 子育てひろばC型 1か所	子育てひろばA型 7か所(私立保育所6・市 立保育所1) 子育てひろばC型 1か所	子育てひろばA型 7か所(私立保育所6・市 立保育所1) 子育てひろばC型 1か所				子育てひろば事業 8施設
平成22年度の 担当課評価	在宅で子育てをしている家庭に対し、子育てに関する相談・助言・情報提供を行うことができました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

一時預かり・特定保育								子育て支援課
保護者の入院や息抜き、断続的な就労により、一時的に保育が必要な子どもをあずかる一時・特定保育をします。また、子ども家庭支援センター「たっち」においては、保護者のリフレッシュとしての一時保育を実施します。 特定保育では、利用者の負担軽減を図ります。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	私立保育所10か所 (定員:116人) 市立保育所1か所 (定員:24人) 子ども家庭支援センター 1か所(定員:8人)	私立保育所12か所 市立保育所1か所 認証保育所5か所 保育室1か所 子ども家庭支援センター 1か所  両親が就労により特定保 育を利用している利用者 への負担軽減 私立保育所12か所	私立保育所12か所 市立保育所1か所 認証保育所5か所 保育室1か所 子ども家庭支援センター 1か所  両親が就労により特定保 育を利用している利用者 への負担軽減 私立保育所12か所	私立保育所12か所 市立保育所1か所 認証保育所5か所 保育室1か所 子ども家庭支援センター 1か所  両親が就労により特定保 育を利用している利用者 への負担軽減 私立保育所12か所				特定保育利用者の負担軽 減を図る
平成22年度の 担当課評価	保護者の入院や息抜き・就労により一時・特定保育を行いました。また、特定保育では利用日数に応じた利用料金の負担軽減を行いました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								



府中市次世代育成支援行動計画事業(新規・重点事業)の  
実施状況と評価等

## 目標1 子育て不安の解消

1 母子健康手帳の配布								健康推進課
妊娠届時の母子健康手帳配布時に分かりやすい情報提供を行います。その際、アンケートを全件実施し、特定妊婦などの早期発見・早期支援や児童虐待の予防を図ります。また、配布時の相談体制を充実するため、保健センター分館での配布を積極的に推進していきます。								重点
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	妊娠届出数 2,460件 母子健康手帳配布数 2,469冊	妊娠届出数 2,400件 母子健康手帳配付数 2,450冊	妊娠届出数 2,466件 母子健康手帳配付数 2,479冊	子育て支援課保健師との連携強化				配布時の相談体制の充実 妊娠中から支援を行った ケースの増加
平成22年度の 担当課評価	平成22年7月1日から妊娠届提出時にアンケートを実施し、悩みや不安を抱える妊婦の早期把握とフォローにつなげることができました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考	平成23年度から、本庁の子育て支援課に保健師を配置して母子健康手帳を交付しています。安心して出産に臨むことができるよう、必要な情報提供に努めるとともに、特定妊婦を早期に発見し、支援につなげていきます。							

2 新生児訪問(乳児家庭全戸訪問)(再掲)								健康推進課
生後4か月までの乳児(未熟児を含む)のいる家庭を訪問し、乳児の発育・栄養・生活環境及び疾病予防等育児に必要な事項について、より適切な指導を行います。また、疾病や異常の早期発見や治療等について助言し、育児不安を解消し、安心して育児に臨むことができるように支援し、児童虐待の予防を図ります。								重点
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	新生児訪問 実人員 1,547人 延人員 1,649人	新生児訪問 実人員1,800人 延人員1,850人	新生児訪問 実人員2,172人 延人員2,265人	新生児訪問 実人員2,000人 延人員2,100人				4か月までの乳児のいる家庭の全戸訪問及び必要な家庭への支援
平成22年度の 担当課評価	平成22年度から、子育て支援課に新生児訪問につながる連絡票を設置し、より多くの訪問につなげられるよう協力体制を組んだことで、訪問数の増加につながっています。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								



3 乳幼児訪問							健康推進課	
育児上必要な事項及び健康管理について、家庭訪問により適切な指導を行います。 また、子どもの疾病や異常の早期発見や治療等について助言し、育児不安の解消や児童虐待の予防を図ります。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	訪問件数 実人員 392人 延人員 459人	訪問件数 350人 延人員450人	訪問件数 実人員 446人 延人員 552人	訪問件数 400人 延人員 450人				適切な時期での訪問及び 指導・助言の実施 関係機関との連携、支援
平成22年度の 担当課評価	健診未受診者や、不安の強い母子などを訪問につなげ、フォローを重点的に行っています。特に、平成23年3月の震災後は、保健師による訪問により心理的サポートを行いました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

4 3～4か月児健康診査・産婦健康診査							健康推進課	
健康診査により、疾病や障害等の早期発見・早期対応を図ります。また、育児不安の解消及び親子の交流の場として活用し、子育て相談や子育て情報提供を行います。 子ども一人ひとりを大切にするため、健康診査データを管理し、未受診者0(ゼロ)を目指すことにより、児童虐待の予防や養育困難家庭への早期支援を図ります。 また、要支援児童については、適切な支援ができるように関係機関との連携を図ります。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	3～4か月児健康診査 月3回 受診者数 2,248人 受診率 97.4% 産婦健康診査 月3回 受診者数 2,223人 受診率 97.3%	3～4か月児健康診査 月3回 受診率 98% 産婦健康診査 月3回 受診率 98%	3～4か月児健康診査 月3回 受診者数 2,371人 受診率 97.9% 産婦健康診査 月3回 受診者数 2,337人 受診率 97.7%	3～4か月児健康診査 月3回 受診率 98% 産婦健康診査 月3回 受診率 98%				未受診者0(ゼロ)を目指す
平成22年度の 担当課評価	特に平成23年3月以降は計画停電による交通網の変動や震災に伴う母の不安(ミルクの確保や放射能の影響など)の相談が相次ぎ、保健師等専門職が対応して必要な場合は訪問等を実施しました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	受診率が目標に達していませんが、生後4か月の乳児が対象のため、健診日の天候等が受診率につながりやすいことによります。							
備考								

5 1歳6か月児健康診査								健康推進課
健康診査により、疾病や障害等の早期発見・早期対応を図ります。また、育児不安の解消及び親子の交流の場として活用し、子育て相談や子育て情報提供を行います。子ども一人ひとりを大切にするため、健康診査データを管理し、未受診者0(ゼロ)を目指すことにより、児童虐待の予防や養育困難家庭への早期支援を図ります。また、要支援児童については、適切な支援ができるよう関係機関との連携を図ります。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	月4回 受診者数 2,269人 受診率 95.1%	月4回 受診率 98%	月4回 受診者数 2,212人 受診率 94.1%	月4回 受診率 98%				未受診者0(ゼロ)を目指す
平成22年度の 担当課評価	未受診児の訪問等を行い、チェックリストに基づいて体系的にフォローを継続しました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	3月11日の震災以降の計画停電等の影響もあり、健診受診者に減少が見られました。							
備考								

6 3歳児健康診査								健康推進課
健康診査により、疾病や障害等の早期発見・早期対応を図ります。また、育児不安の解消及び親子の交流の場として活用し、子育て相談や子育て情報提供を行います。子ども一人ひとりを大切にするため、健康診査データを管理し、未受診者0(ゼロ)を目指すことにより、児童虐待の予防や養育困難家庭への早期支援を図ります。また、要支援児童については、適切な支援ができるよう関係機関との連携を図ります。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	月3回 受診者数 2,000人 受診率 92.6%	月3回 受診率 95%	月3回 受診者数 2,164人 受診率 92.5%	月3回 受診率 95%				未受診者0(ゼロ)を目指す
平成22年度の 担当課評価	未受診児の訪問等を行い、チェックリストに基づいて体系的にフォローを継続しました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	保育園、幼稚園に通っている3歳児の未受診などによります。							
備考								

7 子育て情報の提供								子育て支援課
母子健康手帳配布時や子育て支援課・子ども家庭支援センター「たち」等で、子育て情報誌「子育てのたまたま箱」を配布し、子育て情報の周知を図ります。また、タイムリーな子育て情報を提供できるよう、母子健康手帳の配布時や健康診査時に一時保育、トワイライトステイ、ファミリー・サポート・センター事業、児童虐待防止などの情報提供をします。								重点
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	母子健康手帳配布時、子育て支援課・子ども家庭支援センター「たち」・文化センター・女性センター・市政情報センター等における子育て情報誌「子育てのたまたま箱」の配布 内容を充実させた改訂版の発行	母子健康手帳配布時、子育て支援課・子ども家庭支援センター「たち」・文化センター・女性センター・市政情報センター等における子育て情報誌「子育てのたまたま箱」の配布及び転入者に対する子育て支援課での乳児医療証申請時における子育てのたまたま箱の配布	母子健康手帳配布時、子育て支援課・子ども家庭支援センター「たち」・文化センター・女性センター・市政情報センター等で、子育て情報誌「子育てのたまたま箱」を配布しました。また、転入者に対しては、子育て支援課にて乳児医療証申請時に子育てのたまたま箱を配布しました。年齢に合わせたリーフレットを作成し、健康診査時に配布しました。	母子健康手帳配布時、子育て支援課・子ども家庭支援センター「たち」・文化センター・女性センター・市政情報センター等における子育て情報誌「子育てのたまたま箱」の配布及び転入者に対する子育て支援課での乳児医療証申請時における子育てのたまたま箱の配布 健康診査時における年齢に合わせたリーフレットの配布				転入してくる子育て世帯への「子育てのたまたま箱」の配布 妊娠中の転入者への「子育てのたまたま箱」の配布に向けて転入時における案内の配布と希望者への送付 健康診査等における子育て情報パンフレットの配布
平成22年度の担当課評価	年齢に応じたリーフレットを作成し、健康診査時に配布することで子育て中の親に対して今受けられるタイムリーな子育て情報を提供することができました。							
平成22年度目標を達成できなかった理由	*****							
備考								

8 多様な手段による情報提供								子育て支援課
広報誌「広報ふちゅう」をはじめ、インターネットの活用や、テレビ広報「まるごと府中」、子育て情報誌「子育てのたまたま箱」などを通じて、子育て及びひとり親家庭に関する情報提供を行います。								重点
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	広報ふちゅう及びインターネット、子育て情報誌による、子育て情報の提供	ホームページの内容見直し	ホームページの見直しを行い最新情報に更新しました。	テレビ広報などによる情報提供の検討				様々な機会を活用しての子育て情報の提供
平成22年度の担当課評価	府中市ホームページの内容を見直し、最新の情報を提供することができました。							
平成22年度目標を達成できなかった理由	*****							
備考								

9 子育てサイトの充実								子育て支援課
パソコンや携帯を活用し、子育て団体のホームページにおいて子育て家庭が意見交換できるよう、コミュニティサイトの充実を図ります。								新規
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況		子育てサイトの研究・検討	子育て専用サイトの研究・検討を行いました。	子育てサイトの構築・開設				いつでもどこでもだれでも気軽に活用できる、子育て家庭のコミュニティサイトの充実
平成22年度の 担当課評価	子育て専用サイトの研究・検討を行い、平成23年度に子育てサイトの構築を進めてまいります。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

10 子ども家庭支援センター「たち」における情報提供								子育て支援課
子ども家庭支援センター「たち」を子育てに関する情報の集約施設とし、情報の収集・提供を行います。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	毎月の「たちだより」の発行による「たち」での催しの掲載及び市内のひろば情報、子育て関連の情報提供	「たちだより」を毎月発行する。また市内のひろば情報や子育て関連の情報を掲示板や配布物等で提供する。	「たちだより」を毎月発行しました。また市内のひろば情報や子育て関連の情報を掲示板や配布物等で提供しました。	「たちだより」を毎月発行する。また市内のひろば情報や子育て関連の情報を掲示板や配布物等で提供する。				情報コーナーの整備・充実
平成22年度の 担当課評価	子育て関連情報のパンフレットをより多く置けるように、パンフレットスタンドを購入し、配布場所を拡大しました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

11 児童館における情報提供								子育て支援課 市民活動支援課
子ども家庭支援センター「たち」や文化センター(児童館)において、それぞれの地域で実施している子育て情報などや市内で実施している子育て情報などを掲示し、情報提供を充実します。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	文化センターや市内で実施している子ども向けサークルや事業について、各文化センターの掲示板への掲載	文化センターや市内で実施している子ども向けサークルや事業について、各文化センターの掲示板やホームページへの掲載	文化センター事業をはじめ関係課より依頼のあった事業について掲示物やチラシで情報提供を行いました。またホームページへの掲載も行いました。	文化センターや市内で実施している子ども向けサークルや事業について、各文化センターの掲示板やホームページへの掲載				地域で実施している子育て情報の収集と提供
平成22年度の 担当課評価	ホームページでの情報提供が充実してきている。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

12 障害者相談支援事業								障害者福祉課
委託相談支援事業所「み～な」「あけぼの」「プラザ」において、総合的・一元的相談体制を確立し、障害者が適切なサービスを総合的・効果的に利用できるようにするとともに、関係機関との連携を強化し、相談支援機能の充実を図ります。また、高次脳機能障害・発達障害について、啓発事業の実施、関係機関との連携を図るなど必要な支援を行います。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	相談支援実施件数と利用延べ人数 み～な 4,622件 7,955人 あけぼの 2,490件 4,700人 プラザ 5,341件 5,187人	相談支援実施件数と利用延べ人数 み～な 4,850件 8,400人 あけぼの 2,650件 5,000人 プラザ 5,400件 5,400人	相談支援実施件数と利用延べ人数 み～な 4,387件 6,874人 あけぼの 3,581件 6,540人 プラザ 4,335件 4,335人	・委託相談支援事業所との連絡会を充実させる。 ・相談支援実施件数と利用延べ人数 み～な 4,600件 7,200人 あけぼの 4,000件 7,300人 プラザ 5,400件 5,400人				指定相談支援事業所 3か所以上 相談支援件数 17,000件
平成22年度の 担当課評価	委託している3か所の相談支援事業所と市担当者の定期連絡会を行い、連携を強化し相談機能の充実を図りました。平成22年度から、高次脳機能障害に係る相談支援や啓発事業を実施したほか、精神保健福祉事例検討会を行い困難な事例に対する相談対応のスキルアップと関係機関との連携強化を図りました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	相談支援事業の評価は相談件数だけでは行えない。引き続き「相談件数・人数」を評価指標とはしますが、複雑化・多様化する困難事例にも対応できるよう相談支援機能の充実に努めます。							
備考								

13 子育てひろば事業(再掲)							子育て支援課	
在宅子育て家庭の、親同士の交流や親子のふれあいの場を提供し、子育てに関する相談・助言等を行うことで子育て不安を解消します。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	子育てひろばA型 6か所(私立保育所5・市 立保育所1) 子育てひろばC型 1か所	子育てひろばA型 7か所(私立保育所6・市 立保育所1) 子育てひろばC型 1か所	子育てひろばA型 7か所(私立保育所6・市 立保育所1) 子育てひろばC型 1か所	子育てひろばA型 7か所(私立保育所6・市 立保育所1) 子育てひろばC型 1か所				子育てひろば事業 8施設
平成22年度の 担当課評価	在宅で子育てをしている家庭に対し、子育てに関する相談・助言・情報提供を行うことができました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

14 地域子育て支援(子育てひろば)事業							保育課	
児童館や学童クラブ施設などにおいて地域性あふれるひろば事業を実施し、様々な地域から集まる親子の交流と情報交換や仲間づくりを支援します。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	ポップコーン 6か所 すきっぷ 18か所 ほののぼ 2か所 ぬくぬく 4か所 ここん 3か所 はじめてアート 1か所 ボランティア 40人	ポップコーン 6か所 すきっぷ 18か所 ほののぼ 2か所 ぬくぬく 4か所 ここん 2か所 はじめてアート 1か所 ボランティア 40人	ポップコーン 6か所 すきっぷ 18か所 ほののぼ 2か所 ぬくぬく 4か所 ここん 2か所 はじめてアート 1か所 ボランティア 44人	ポップコーン 6か所 すきっぷ 18か所 ほののぼ 2か所 ぬくぬく 4か所 ここん 2か所 はじめてアート 1か所 ボランティア 40人				ポップコーン 11か所 ボランティア 80人
平成22年度の 担当課評価	様々なひろば事業を実施し多くの人の参加がありました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

15 子育て地域交流事業								子育て支援課
子ども家庭支援センターを中心に、様々な地域の親子との仲間づくりや、子育て講座、ボランティア活動、交流の場の提供などを行います。また、ボランティア等の協力を得ながら実施回数を増やすとともに、声かけが必要な親子の子育て相談に乗るなど、きめ細かい事業を展開します。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	施設2か所 対象年齢 0～6歳 たっち交流ひろば 102,983人 しらとりオープンルーム 2,043人	施設2か所 対象年齢 0～6歳 たっち交流ひろば 103,500人 しらとりオープンルーム 2,050人	施設2か所 対象年齢 0～6歳 たっち交流ひろば 117,031人 しらとりオープンルーム 1,962人	施設2か所 対象年齢 0～6歳 たっち交流ひろば 103,500人 しらとりひろば 2,050人				対象年齢 0～6歳 たっち交流ひろば 107,500人 しらとりオープンルーム 2,200人 地域の子育てサークルや NPOなどの交流会の開催
平成22年度の 担当課評価	たっち交流ひろばは、開館5年を迎え、施設が周知されたことと、猛暑や冬の寒さの影響で入館者が増加しましたが、しらとりオープンルームは目標には達しませんでした。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	しらとりオープンルームは、企画を工夫した結果、企画内容によっては母同士の口コミ等で昨年より増加したものもありましたが、目標に達しませんでした。広報により工夫が必要だと思います。							
備考								

16 公会堂を利用した自主活動の場づくり								子育て支援課
公会堂を利用した子育てグループの自主活動を応援し、親同士の交流や親子のふれあい機会をつくり、子育て不安の解消や親同士の仲間づくりを図ります。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	3団体	8団体	7団体	7団体				6団体
平成22年度の 担当課評価	年度当初は6団体であった子育ての自主グループに、年度中において新たに1団体が加わり、計7団体の子育てグループの自主活動を支援しました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	制度の周知方法や新規団体の相談はあったものの申請に至らなかったケースがあったことなどによります。より利用しやすい制度とするため要綱の改正を行いました。							
備考								

17 児童館の活用								子育て支援課 市民活動支援課
市内11か所にある児童館において、子どもの遊び相手や話し相手となる児童館指導員を各館の状況に応じた配置を行ないます。また、児童館に子育てボランティアを配置し、親同士の交流や親子の交流、そして子育ての悩みを相談し合える場づくり、親同士の仲間づくりを図ります。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	[児童館指導員] 週5日(平日)4時間/日	[児童館指導員] 週5日(平日)3時間/日 夏休み等長期休暇中 4時間/日  [平日午前のボランティア 配置] 子育てボランティア配置の 検討	[児童館指導員] 週5日(平日)3時間/日 夏休み等長期休暇中 4時間/日  [平日午前のボランティア 配置] 文化センターの児童館の 午前中を利用した子育て ひろばについて検討しまし た。	[児童館指導員] 週5日(平日)3時間/日 夏休み等長期休暇中 4時間/日  [平日午前のボランティア 配置] 文化センターの児童館で 子育てボランティアによる 子育てひろばを新たに開 始(2か所・2回/月)				各児童館の実情に応じた 児童館指導員の配置 平日の午前中に子育てボ ランティアを配置し、子育 て家庭が集い、交流や情 報収集ができる場の提供
平成22年度の 担当課評価	[児童館指導員]児童館指導員の配置については現時点での実施目標は達成されていますが、できれば土日も配置するのが望ましいと考えます。 [平日午前のボランティア配置]文化センターの児童館を利用して子育てひろばを子育てボランティアにより実施することを検討しました。結果、平成23年度より2か所で実施します。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

18 子どもと家庭の総合相談								子育て支援課
子ども家庭支援センター「たち」を中心として、子どもとその保護者に対する総合相談事業を実施します。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	「たち」、「しらとり」 の2施設 相談件数 813件	育児家庭の総合相談事業 を実施し、育児不安・負担 の軽減や児童虐待の発生 予防を図ります。	「たち」、「しらとり」 の2施設 相談件数 830件	育児家庭の総合相談事業 を実施し、育児不安・負担 の軽減や児童虐待の発生 予防を図ります。				育児不安や負担の解消、 軽減のための相談実施 相談員のスキルアップ
平成22年度の 担当課評価	児童相談所と協力して訪問や支援を行うとともに、関係機関とも連携しながら相談事業の充実に努めました。また、定期的に支援が必要な家庭には、育児支援家庭訪問員やヘルパーを派遣して児童虐待の発生防止を図りました。なお、江戸川区や大阪で児童虐待による死亡事件が発生し、本市でも虐待相談が平成21年度(129件)から1.8倍に増加し224件となったほか、全体的にも21年度より20%ほど増加しました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								



19 地域子育てクラス								健康推進課
子育ての不安や悩みを気軽に相談できる場として、地域の公会堂や自治会館を会場とし、子育てクラスや未熟児及び多胎児を対象とした子育てクラスを実施することで、育児不安の解消や児童虐待の予防を図ります。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	年12回 97組 相談件数 813件	年24回 親子交流の推進	年22回 279組の親子が参加	育児不安の強い親子の参加を促す。				年20回
平成22年度の 担当課評価	保護者同士の交流や親子遊び、子育て相談等を実施し、身近な地域での活動を行うことができました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	震災直後、参加者の不安や会場の安全等を考慮し、2回分の実施を見合わせたことによります。							
備考								

20 虐待予防								健康推進課
母子保健事業(健康診査、教育、相談、訪問)を通して、虐待の予防と早期発見、早期対応により、乳幼児の健全な育成を図ります。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	母子保健事業(健康診査、教育、相談、訪問)を通しての虐待の予防と早期発見、早期対応	母子保健事業(健康診査、教育、相談、訪問)を通しての相談体制の充実	保健師、助産師等専門職が相談を受け、必要なケースはたち等とも連携	母子保健事業(健康診査、教育、相談、訪問)を通しての相談体制の充実				母子保健事業を通じての虐待の予防
平成22年度の 担当課評価	相談の内容は、予防接種の進め方や哺乳、離乳食がうまくいかないなど多岐にわたっており、育児不安にもつながる内容となっています。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

21 児童虐待の相談対応							子育て支援課	
児童虐待に関する相談体制を充実させるとともに、関係機関と連携して情報を共有し、虐待の早期発見・早期支援に努め、児童虐待の防止を図ります。また、児童虐待をしてしまった親に対する支援を行います。							重点	
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	継続的な支援が必要な家庭に育児支援家庭訪問事業を導入、職員に替わって訪問員による支援と状況の改善	要支援家庭に育児支援家庭訪問事業を導入して家庭の状況改善に努めるとともに、保育園、幼稚園、小中学校等との定期的な実施する情報提供を有効に活用し、児童虐待の重篤化を防止します。	学校等との定期的な情報提供を9月から実施し、要支援児童の状況を把握するとともに関係機関との連携を強化する事ができました。	22年度に作成した児童虐待防止マニュアル(改訂版)を活用し、虐待の知識や対応を広い機関に周知するとともに連携の強化を図ります。				児童虐待の発生予防・早期発見・早期支援が重要であることから、子ども家庭部と福祉保健部の連携強化と支援体制の整備
平成22年度の担当課評価	減少していた児童虐待相談が、江戸川区や大阪での虐待死事件の影響で増加し、児童相談所や関係機関と連携しながらその対応に努めました。児童虐待の知識や対応を広く周知するため、関係機関が活用しやすい児童虐待防止マニュアル(改訂版)を作成しました。							
平成22年度目標を達成できなかった理由	*****							
備考								

22 DV防止の情報・資料の収集と提供							市民活動支援課	
市民にDVへの正しい理解を普及・啓発するために、女性センター情報資料室にDVに関する資料を積極的に収集します。また、国・都などからの情報を効果的に周知するため、講座を実施する他、これらの情報をセンター内へ掲示し、実施事業などでPRなどを行います。さらに、庁内関係課との連携を図るためにDV対策連携会議を実施します。今後の計画としては、DVの予防のための啓発として、女性を対象としたチラシ等の配布だけではなく、「DVは犯罪であり児童虐待の温床となる」という意識を醸成するため、男性を含め広く市民に向けた啓発を実施していきます。							重点	
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	DV防止に関する情報の収集・掲示 DV防止講座を1回実施 男女共同参画推進フォーラム内でDVに関する分科会を実施 DV対策連携会議を1回実施	DV防止に関する情報の収集・掲示 DV防止講座を1回実施 男女共同参画推進フォーラム内でDVに関する分科会を実施 DV対策連携会議を1回実施	DV防止に関する情報の収集・掲示 男女共同参画推進フォーラム、DVに関する分科会にて講座開催 内容「DVの現場から」 「支配」は暴力	DV防止に関する情報の収集・掲示 DV防止講座を1回実施 男女共同参画推進フォーラム内でDVに関する分科会を実施 DV対策連携会議を1回実施				DV防止に関する情報の収集・掲示の拡充 DV防止講座を年1回以上実施 DV対策連携会議を継続的に開催
平成22年度の担当課評価	DV防止に関する情報の収集・掲示を実施しました。 男女共同参画推進フォーラムにてDVに関する分科会を実施するとともに、DV対策連携会議を定期的に行いました。							
平成22年度目標を達成できなかった理由	*****							
備考								

23 女性に対する暴力をなくす運動事業							市民活動支援課	
毎年11月12日から25日までの期間を、国が「女性に対する暴力をなくす運動」期間として定めています。本市においてもこれに賛同し、DV啓発に関する講座を実施します。今後は、この「女性に対する暴力をなくす運動」期間を利用して、市民に向けてDVの内容を啓発できるように、自治会の回覧等を利用するなど、集中的に普及啓発活動に取り組みます。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	「女性に対する暴力をなくす運動」期間にちなみ、関連講座を実施 DV対策連携会議を1回実施	「女性に対する暴力をなくす運動」期間にちなみ、関連講座を実施 DV対策連携会議を1回実施	講座:平成22年11月17日 内容「女と男のよりよい関係～DV防止法を中心に～」 参加者 16人 連携会議:平成22年8月16日	「女性に対する暴力をなくす運動」期間にちなみ、関連講座を実施 DV対策連携会議を1回実施				継続的に年1回以上の講座を実施 DV対策連携会議を継続的に開催 市民向けにDV啓発のための周知
平成22年度の担当課評価	関連講座に関しては、定員20名に対し受講者16名であり、80%を確保しました。また、DV対策連携会議を1回実施しました。							
平成22年度目標を達成できなかった理由	*****							
備考								

24 親支援事業							子育て支援課	
育児に不安を抱え子どもに虐待をしてしまいそうな、又はしてしまった母親を対象に、悩みや不安を打ち明けながら、自分なりの子育てを見つけ親子の成長を支援していくグループ活動を支援します。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	たっち 2グループ 43回実施 登録者 27人 参加人数 101人 NP 3コース(しらとり) 27回実施 参加人数 411人	現在実施している2グループの活動内容を検討し、参加者の意欲向上に努めます。	たっち 2グループ 42回実施 登録者 26人 参加人数 125人 NP 3コース(しらとり) 20回実施 参加人数 361人	現在実施している2グループの活動にペアレントレーニングの講座を加えて実施し、親の子育て力の向上に努めます。				たっち2グループの登録者数45人 NP 3コース
平成22年度の担当課評価	参加者である母親自身が、自分の育ちや気持ちを受け止めて子育てに生かしていくことが難しいことも多いため、ハイリスク群のグループでは、安定した参加者数での活動が難しいですが、児童虐待防止、重篤化防止には必要な事業であると考えます。							
平成22年度目標を達成できなかった理由	*****							
備考								

25 育児支援家庭訪問事業(再掲)							子育て支援課	
育児に不安や悩みを抱える家庭や、育児困難を抱える家庭に対し、支援に応じた職種の訪問員が職員に代わって定期的に家庭訪問を行い、子育ての負担や不安の軽減を図るとともに、児童虐待等の発生を未然に防ぎます。 児童福祉法の改正に伴い、第二種社会福祉事業に位置づけられたことから、子ども家庭部と福祉保健部の連携を図りながらさらに充実させていきます。							重点	
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	訪問員登録者 24人 NPO団体 2団体 対象世帯 83世帯 訪問回数 1,201回	支援に応じた職種の訪問員を派遣し、家庭状況の改善と児童虐待防止を図ります。	訪問員登録者 26人 NPO団体 2団体 対象世帯 83世帯 訪問回数 923回	関係機関と連携し、支援の必要な家庭に対して支援に応じた職種の訪問員を派遣し、家庭状況の改善と児童虐待防止を図ります。				訪問員 30人 訪問世帯 90世帯 訪問事業終了ケース 45世帯 児童福祉法の改正に伴い、第二種社会福祉事業に位置づけられたことから、子ども家庭部と福祉保健部の連携を図りながらさらなる充実
平成22年度の 担当課評価	短期間では結果の出ない事業ですが、時間をかけ訪問を重ねることで家庭との信頼関係や効果の見える家庭もあり、母親の精神的な支えになる大きな役割を果たしていると考えます。また、児童福祉法の改正で、要支援の対象に加えられた特定妊婦への訪問事業についても、保健センターとの連携により数件のケースに導入することができました。頻回に訪問する家庭が少なかったことにより全体的な訪問件数は減少していますが、精神的に不安定な母親は増加しており、その支援のため保健師の訪問員を増員しました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

## 目標2 地域における子育て支援

26 小学生のためのブックトーク「よむよむ探検隊」							図書館	
小学4～6年生を対象に、テーマごとに楽しい本の紹介を行ないます。小学生にとって時間の余裕のある土曜日に設定することで、図書館の利用を促し、読書の楽しさを得てもらいます。							新規	
図書館	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況		年5回 55人	年5回 28人	年5回 55人				毎月1回 年12回実施
平成22年度の 担当課評価	21年度にこの事業を開始し、徐々にではありますが常連になってきた子どもたちが増えてきています。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	ブックトーク開催日に図書館内や近くの会場で他のイベントと重なることがあり、そういった回では参加者数が減少してしまったと思われます。またブックトークの認知度も充分ではないため参加者が少ないことも原因だと思われます。							
備考								

27 子育てひろば事業(地域子育て支援拠点事業)(再掲)							子育て支援課	
在宅子育て家庭の、親同士の交流や親子のふれあいの場を提供し、子育てに関する相談・助言等を行うことで子育て不安を解消します。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	子育てひろばA型 6か所(私立保育所5・市 立保育所1) 子育てひろばC型 1か所	子育てひろばA型 7か所(私立保育所6・市 立保育所1) 子育てひろばC型 1か所	子育てひろばA型 7か所(私立保育所6・市 立保育所1) 子育てひろばC型 1か所	子育てひろばA型 7か所(私立保育所6・市 立保育所1) 子育てひろばC型 1か所				子育てひろば事業 8施設
平成22年度の 担当課評価	在宅で子育てをしている家庭に対し、子育てに関する相談・助言・情報提供を行うことができました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

28 地域子育て支援(子育てひろば)事業(再掲)							保育課	
児童館や学童クラブ施設などにおいて地域性あふれるひろば事業を実施し、様々な地域から集まる親子の交流と情報交換や仲間づくりを支援します。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	ポップコーン 6か所 すきっぷ 18か所 ほののぼ 2か所 ぬくぬく 4か所 ここん 3か所 はじめてアート 1か所 ボランティア 40人	ポップコーン 6か所 すきっぷ 18か所 ほののぼ 2か所 ぬくぬく 4か所 ここん 2か所 はじめてアート 1か所 ボランティア 40人	ポップコーン 6か所 すきっぷ 18か所 ほののぼ 2か所 ぬくぬく 4か所 ここん 2か所 はじめてアート 1か所 ボランティア 44人	ポップコーン 6か所 すきっぷ 18か所 ほののぼ 2か所 ぬくぬく 4か所 ここん 2か所 はじめてアート 1か所 ボランティア 40人				ポップコーン 11か所 ボランティア 80人
平成22年度の 担当課評価	様々なひろば事業を実施し多くの人の参加がありました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

29 子育て地域交流事業(再掲)								子育て支援課
子ども家庭支援センターを中心に、様々な地域の親子との仲間づくりや、子育て講座、ボランティア活動、交流の場の提供などを行います。また、ボランティア等の協力を得ながら実施回数を増やすとともに、声かけが必要な親子の子育て相談に乗るなど、きめ細かい事業を展開します。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	施設2か所 対象年齢 0～6歳 たち交流ひろば 102,983人 しらとりオープンルーム 2,043人	施設2か所 対象年齢 0～6歳 たち交流ひろば 103,500人 しらとりオープンルーム 2,050人	施設2か所 対象年齢 0～6歳 たち交流ひろば 117,031人 しらとりオープンルーム 1,962人	施設2か所 対象年齢 0～6歳 たち交流ひろば 103,500人 しらとりひろば 2,050人				対象年齢 0～6歳 たち交流ひろば 107,500人 しらとりオープンルーム 2,200人 地域の子育てサークルや NPOなどの交流会の開催
平成22年度の 担当課評価	たち交流ひろばは、開館5年を迎え、施設が周知されたこと、猛暑や冬の寒さの影響で入館者が増加しましたが、しらとりオープンルームは目標には達しませんでした。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	しらとりオープンルームは、企画を工夫した結果、企画内容によっては母同士の口コミ等で昨年より増加したものもありましたが、目標に達しませんでした。広報により工夫が必要だと思います。							
備考								

30 公会堂を利用した自主活動の場づくり(再掲)								子育て支援課
公会堂を利用した子育てグループの自主活動を応援し、親同士の交流や親子のふれあい機会をつくり、子育て不安の解消や親同士の仲間づくりを図ります。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	3団体	8団体	7団体	7団体				6団体
平成22年度の 担当課評価	年度当初は6団体であった子育ての自主グループに、年度中において新たに1団体が加わり、計7団体の子育てグループの自主活動を支援しました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	制度の周知方法や新規団体の相談はあったものの申請に至らなかったケースがあったことなどによります。より利用しやすい制度とするため要綱の改正を行いました。							
備考								

31 児童館の活用(再掲)							子育て支援課 市民活動支援課	
市内11か所にある児童館において、子どもの遊び相手や話し相手となる児童館指導員を各館の状況に応じた配置を行ないます。また、児童館に子育てボランティアを配置し、親同士の交流や親子の交流、そして子育ての悩みを相談し合える場づくり、親同士の仲間づくりを図ります。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	[児童館指導員] 週5日(平日)4時間/日	[児童館指導員] 週5日(平日)3時間/日 夏休み等長期休暇中 4時間/日  [平日午前のボランティア 配置] 子育てボランティア配置の 検討	[児童館指導員] 週5日(平日)3時間/日 夏休み等長期休暇中 4時間/日  [平日午前のボランティア 配置] 文化センターの児童館の 午前中を利用した子育て ひろばについて検討しまし た。	[児童館指導員] 週5日(平日)3時間/日 夏休み等長期休暇中 4時間/日  [平日午前のボランティア 配置] 文化センターの児童館で 子育てボランティアによる 子育てひろばを新たに開 始(2か所・2回/月)				各児童館の実情に応じた 児童館指導員の配置 平日の午前中に子育てボ ランティアを配置し、子育 て家庭が集い、交流や情 報収集ができる場の提供
平成22年度の 担当課評価	[児童館指導員]児童館指導員の配置については現時点での実施目標は達成されていますが、できれば土日も配置するのが望ましいと考えます。 [平日午前のボランティア配置]文化センターの児童館を利用して子育てひろばを子育てボランティアにより実施することを検討しました。結果、平成23年度より2か所で実施します。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

32 児童館における情報提供(再掲)							子育て支援課 市民活動支援課	
子ども家庭支援センター「たち」や文化センター(児童館)において、それぞれの地域で実施している子育て情報などや市内で実施している子育て情報などを掲示し、情報提供を充実します。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	文化センターや市内で実 施している子ども向けサー クルや事業について、各 文化センターの掲示板へ の掲載	文化センターや市内で実 施している子ども向けサー クルや事業について、各 文化センターの掲示板や ホームページへの掲載	文化センター事業をはじめ 関係課より依頼のあった事 業について掲示物やチャ ンで情報提供を行いました 。またホームページへの 掲載も行いました。	文化センターや市内で実 施している子ども向けサー クルや事業について、各 文化センターの掲示板や ホームページへの掲載				地域で実施している子育 て情報の収集と提供
平成22年度の 担当課評価	ホームページでの情報提供が充実してきている。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

33 市立幼稚園園庭開放								学務保健課
市立幼稚園の園庭開放を開園時間以外に開放し、在籍児はもとより未就園児、近隣幼児等の安全で安心して遊べる場所として提供するとともに、保護者の交流の場とします。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	市立幼稚園 3か所 週4回 園庭開放参加者 7,729人 矢崎幼稚園 2,558人 みどり幼稚園 2,278人 小柳幼稚園 2,893人	市立幼稚園 3か所 週4回 園庭開放参加者 7,000人 矢崎幼稚園 2,000人 みどり幼稚園 2,500人 小柳幼稚園 2,500人	市立幼稚園 3か所 週4回 園庭開放参加者 9,822人 矢崎幼稚園 2,263人 みどり幼稚園 5,119人 小柳幼稚園 2,440人	市立幼稚園 3か所 週4回 園庭開放参加者 7,100人 矢崎幼稚園 2,200人 みどり幼稚園 2,500人 小柳幼稚園 2,400人				子育て相談の充実
平成22年度の 担当課評価	本事業は、幼稚園児の保護者にも定着している事業であり、実施目標を上回る成果が得られました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

34 おはなし会								図書館
おはなし(ストーリーテリング)や絵本の読み聞かせを通し、読書の楽しみ、想像力をはぐくむきっかけとします。平成21年度からは、中央図書館は毎週木曜日(小学生対象の回に参加がほとんどないことより1日2回から1回へ(但し、小学生向けに別事業実施))及び第1土曜日、地区図書館は毎月1回、図書館職員と市民であるおはなしボランティアとの協働で行っています。また、中央図書館では、夏と冬各1回、おたのしみおはなし会を行っています。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	中央図書館 1,691人 夏のおたのしみおはなし会 (中央)1回 58人(内子ども58人) 冬のおたのしみおはなし会 (中央)1回 35人(内子ども35人) 地区図書館 35回 342人 (内子ども275人)	中央図書館 1,000人(内子ども950人) 夏のおたのしみおはなし会 (中央)1回 49人(内子ども43人) 冬のおたのしみおはなし会 (中央)1回 45人(内子ども40人) 地区図書館 128回 1,000人(内子ども800人)	中央図書館 782人(内子ども588人) 夏のおたのしみおはなし会 (中央)1回 49人(内子ども43人) 冬のおたのしみおはなし会 (中央)1回 29人(内子ども25人) 地区図書館 125回 1,109人(内子ども822人)	中央図書館 1,000人(内子ども950人) 夏のおたのしみおはなし会 (中央)1回 60人(内子ども50人) 冬のおたのしみおはなし会 (中央)1回 50人(内子ども40人) 地区図書館 139回 1,000人(内子ども800人)				中央図書館 1,700人 夏のおたのしみおはなし会(中央)1回 60人(内子ども60人) 冬のおたのしみおはなし会(中央)1回 60人(内子ども60人) 地区図書館 144回 2,500人(内子ども2,380人)
平成22年度の 担当課評価	今年度から全館で保護者も参加可能とし、より充実した内容のおはなし会ができるようにしました。また、中央図書館で開催している土曜日のおはなし会の開始時間を10時30分から11時に変更し、より来館者数が多い時間に合わせて参加者が増えるよう計画しました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	塾や習い事などで小学生の参加者が毎年減少しています。特に小学校へのPRが弱かったため、開催日時などの周知が広がらず目標数より下回ってしまったと思われます。また計画停電などの影響により会が中止となり参加人数が減ったことも原因と考えられます。							
備考								



35 ちいさい子のおはなし会							図書館	
1・2歳の乳幼児と保護者を対象に、絵本の読み聞かせや手遊び、わらべうたなどを行い、読書やことばの楽しさを知ってもらい、子どもと保護者のふれあいを促します。平成21年度から、中央図書館は毎月第2・4木曜日、地区図書館は各館毎月1回、市職員と市民によるおはなしボランティアと協働で実施しています。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	中央図書館 24回 825人 (内子ども419人) 地区図書館 46回 942人 (内子ども488人)	中央図書館 23回 814人 (内子ども407人) 地区図書館 128回 1,700人 (内子ども850人)	中央図書館 22回 633人 (内子ども323人) 地区図書館 125回 1,563人 (内子ども831人)	中央図書館 24回 720人 (内子ども360人) 地区図書館 138回 1,900人 (内子ども 950人)				中央図書館は現状維持 地区図書館 144回 2,880人 (内子ども2,440人)
平成22年度の 担当課評価	22年度から中央図書館ではおはなし会の後に絵本に関する「プチ講座」を開催し、絵本の紹介や子どもと絵本の関わりについて説明する機会を増やしました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	おはなし会同様に、PRが弱かったため目標数より下回ってしまったと思われます。また計画停電などの影響により会が中止となり参加人数が減ったことも要因と考えられます。							
備考								

36 赤ちゃん絵本文庫							図書館	
3、4か月児及び1歳6か月児健康診査時に、絵本の読み聞かせやわらべうた、手あそびなどを実施し、保護者とともに読書へのきっかけとします。3、4か月児健康診査では、赤ちゃんの図書館利用カードの登録も行い、図書館利用への働きかけも行います。市職員とおはなしボランティアと協働で実施しています。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	利用登録者数 927人 貸出人数 247人 貸出冊数 798冊	利用登録者数 950人 貸出人数 220人 貸出冊数 700冊	利用登録者数 917人 貸出人数 205人 貸出冊数 639冊	利用登録者数 950人 貸出人数 220人 貸出冊数 700冊				利用登録者数 1,300人 貸出人数 500人 貸出冊数 1,100冊
平成22年度の 担当課評価	職員とボランティアで専門的な講座を受講し、活動に関する必要な知識を積極的に学習しています。また検診に来た保護者への積極的な声かけなどもできるようになってきました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	受診者に対し、受付から受診までの短時間でのアピールが難しく目標をあとわずかではありますが達成できませんでした。							
備考								

37 図書館サービス							図書館	
全13館で所蔵する資料を活用し、さらにインターネットやCD-ROMなど新たな媒体も活用しつつ、子どもに読書の楽しみを知らせ、また、子どもの学びや知りたいという好奇心に対応できるように、資料の充実や図書館の使いやすさへの工夫に取り組んでいきます。また、きめ細かい読書相談やレファレンスサービスを行うとともに、子どもの心をはぐくむ本との出会いの場として、PFI事業者も含め事業を展開していくなど、図書館ボランティアと協働しながら、また、学校と連携しながら図書館サービスの充実を行います。							重点	
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	ブックトーク講習会 一般・教師等対象 全3回 21人 キャンペーン「たびたびよんでほんのたび」子ども対象 758人 夏休み読書キャンペーン「本の木だいすき！」子ども対象 917人 出前講座 計4回117人(内子ども11人) 学校への事業(ブックトーク等) 計4校 253人(内子ども200人)	学校司書教諭・指導補助員等へのブックトーク等研修 3回 キャンペーン「たびたびよんでほんのたび」子ども対象 772人 夏休み読書キャンペーン「本の木だいすき！」子ども対象 876人 出前講座 計4回100人 学校への事業 計4校	学校司書教諭・指導補助員等へのブックトーク等研修 3回 キャンペーン「たびたびよんでほんのたび」子ども対象 772人 夏休み読書キャンペーン「本の木だいすき！」子ども対象 876人 出前講座 計4回93人 学校への事業 計2校 164人(内子ども124人)	学校司書教諭・指導補助員等へのブックトーク等研修 3回 キャンペーン「たびたびよんでほんのたび」子ども対象 800人 夏休み読書キャンペーン「この本読んだかい？」子ども対象 900人 出前講座 計4回100人 学校への事業 計4校				キャンペーン 参加子ども人数 1,000人 夏休み読書キャンペーン 参加子ども人数 1,200人 出前講座 6回 学校への事業 6校
平成22年度の 担当課評価	春の子ども読書の日キャンペーンや夏休みのキャンペーンなどの恒例行事では、オリジナルパスポートや絵はがきなどを作成し読書活動の推進を継続して行っています。出前講座では実施後アンケートで多くの好評の声をいただきました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	各種キャンペーンについてはポスターや展示コーナー、カウンターで直接紹介を行います。アピール不足のため参加者が増えなかったと思われます。また22年度の「学校への事業」は依頼が2校しかなかったため目標値が達成できませんでした。今年度は学校への積極的な講座紹介などを行ってまいります。							
備考								

38 公園・緑地							公園緑地課	
市内のどこからでも歩いていける範囲に公園があることを目指し、公園の整備を進めます。街区公園など地域に密着した公園は、コミュニティの場として活用できるように、地域の人びとが主体となった管理・運営を行います。また、子どもが安心して楽しく利用できるよう、安全に配慮した遊具等の設置や安全管理、砂場などの衛生管理を行います。							重点	
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	181ha (市面積の6.34%)	老朽化した公園遊具などの改修や取替え、砂場の砂殺菌、補充作業を行う。	老朽化が激しい木製複合遊具の取替え(1公園)や砂場殺菌(全公園)を実施できました。	老朽化した公園遊具などの改修や取替え、砂場の砂殺菌、補充作業を行う。				子どもが安心して楽しく利用できる公園整備
平成22年度の 担当課評価	限られた財源の中、すべての公園の老朽化した施設に対応することはできませんが、平成22年度目標は達成できました。平成23年度以降も老朽化が激しく、危険度の高いものから順次、改修等を行ってまいります。また、2公園をモデル地区として地域の方と懇談会を行い、地域の方を管理・運営の主体とする公園管理マニュアルづくりを進めました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

39 子育て関連団体と地域とのネットワーク化								子育て支援課
子育てに関わる団体等による組織を設け、団体間の情報交換や地域の実情に応じた取り組みを支援します。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	地域子育てひろば活動団体との情報交換	子育てひろば団体交流会の実施	子育てひろば団体交流会を実施し、202組、399人の親子が参加しました。	子育てひろば団体交流会の実施				ひろば会議の継続並びに子ども家庭支援センター運営協議会における子育て関係団体と地域のネットワーク化
平成22年度の担当課評価	市内で子育てひろばを実施している方達と共催で、ルミエール府中において「ひろげよう！子育てひろばのわ」をテーマに交流会を開催しました。							
平成22年度目標を達成できなかった理由	*****							
備考								

40 子育てボランティアの育成講座								子育て支援課
社会福祉協議会と連携し、子育て支援事業などへのボランティアの受け入れや活動の場を提供するとともに、地域の子育てひろばやサークルの活動を支援するボランティアの育成を行います。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	社会福祉協議会のボランティア登録者に活動の場として「たっち」交流ひろばの提供	子育て支援ボランティア養成講座を実施し、ひろば事業での活用を図るとともに、ボランティアを受け入れて活動場所を提供します。	ボランティア養成講座 参加延数 27人 ステップアップ講座 参加延数 16人	子育て支援ボランティア養成講座、ステップアップ講座を実施し人材の育成と活用を図ります。				年2コース実施 (1回はスキルアップコース) 講座終了者の活動件数の拡大
平成22年度の担当課評価	一般市民や学生を対象にしたボランティア養成講座と、既にボランティアとして活動している人を対象にしたステップアップ講座を実施し、希望者には「たっち」や「しらとり」でのボランティア体験の場を提供しました。今後は、市内のひろばなどでの活用を図ります。							
平成22年度目標を達成できなかった理由	*****							
備考								

41 ファミリー・サポート・センター事業(再掲)								子育て支援課
育児の援助を受けたい市民と、援助を行いたい市民の間に立ち、子育てに関する相互援助活動の支援や調整を行います。また、ファミリー・サポート・センター事業の周知を図るためポスター掲示をしたり、提供会員の育成を図るため育成講習会を実施するとともに、提供会員の増加に努めます。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	会員数 1,219人 活動件数 6,628件	会員数 1,270人 活動件数 6,700件	会員数 1,385人 活動件数 5,908件	会員数 1,280人 活動件数 6,000件				年総会員数 1,500人 提供会員 400人 活動件数 7,000件
平成22年度の 担当課評価	課題である会員数は広報に工夫をしたところ増加しました。活動件数については、地震等の影響により伸びませんでした。引き続き提供会員の増加に努めてまいります。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	活動件数については、地震等の影響により伸びませんでした。							
備考								

42 子ども手当								子育て支援課
中学3年生(15歳に達した日の属する年度末)までの子どもを養育している保護者(生計中心者)に子ども手当を支給します。								新規
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況		延対象者数 342,180人	延対象者数 361,516人	延対象者数 401,484人				延対象者数 399,564人
平成22年度の 担当課評価	対象者へ周知徹底を図り、適正な支給に努めました。また、転入・出生等により対象者数が目標値より増となりました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考	実施目標欄については、対象者の見込数を記載しました。							

### 目標3 保育サービスの充実

43 認可保育所								保育課
私立保育園の新設や分園の開設を行うことにより、待機児童の解消を目指します。 また、市立保育所への民間活力導入の検討を行います。								重点
子育て支援課	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	認可定員 3,589人 市立16施設 1,704人 私立17施設 1,885人	認可定員 3,945人 市立16施設 1,745人 私立21施設 2,200人	認可定員 3,911人 市立16施設 1,745人 私立21施設 2,166人	認可定員 4,025人 市立16施設 1,745人 私立22施設 2,280人				41施設 4,343人
平成22年度の 担当課評価	保育所の新設等によりほぼ計画どおりの定員増を行いました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	新設園が開設初年度の定員を少なくしているため、計画より実績が少なくなっています。 また、定員の弾力化をしていますので、受入枠は計画目標を超えています。							
備考								

44 障害児保育								保育課
心身に障害のある子どもの保護者のニーズに応えるため、民間保育所の新設時などにあわせて入所定員枠を拡大します。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	63人	65人	68人	65人				受け入れ増
平成22年度の 担当課評価	障害児の受入に努めました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

45 認可外保育所(認証・保育室等)							保育課	
認証保育所の新設や保育室の認証保育所等への移行を支援します。また、認定こども園や家庭的保育事業(以下「保育ママ」という。)の導入に向けて検討します。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	定員 315人 認証 9施設 265人 保育室 3施設 50人	定員 381人 認証 11施設 331人 保育室 3施設 50人	定員 331人 認証 9施設 281人 保育室 3施設 50人	定員 420人 認証 11施設 370人 保育室 3施設 50人				認証 19施設 575人
平成22年度の 担当課評価	新規設置がなかったため定員の伸びが小さい結果となりました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	認証保育所の新規設置が計画より遅れたため、定員増が少なくなりました。 しかしながら、定員の弾力化や市外施設の利用により年度末には計画に近い利用者数(324人)となっています。							
備考								

46 病児・病後児保育							子育て支援課	
病気の子どもを医療機関併設型の施設であずかります。また、病気の回復期にある子どもを施設であずかる、病児・病後児保育の充実を図ります。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	実施施設 1か所 定員 4人 実施時間 18時まで 延べ利用人数 12人	実施施設 1か所 定員 5人 実施時間 18時まで 延べ利用人数 600人	実施施設 1か所 定員 5人 実施時間 18時まで 延べ利用人数 599人	実施施設 2か所 定員 10人 実施時間 18時まで 延べ利用人数 1100人				実施施設 病児・病後児保育*2施設 利用人数 800人
平成22年度の 担当課評価	補助事業になって2年を迎え、事業が市民に周知されたことにより上記の実績となりました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	3月11日の大地震後の利用者が減少したため、延べ利用人数が目標に達しませんでした。							
備考								

47 一時預かり・特定保育(再掲)								子育て支援課
保護者の入院や息抜き、断続的な就労により、一時的に保育が必要な子どもをあずかる一時・特定保育をします。また、子ども家庭支援センター「たち」においては、保護者のリフレッシュとしての一時保育を実施します。 特定保育では、利用者の負担軽減を図ります。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	私立保育所10か所 (定員:116人) 市立保育所1か所 (定員:24人) 子ども家庭支援センター 1か所(定員:8人)	私立保育所12か所 市立保育所1か所 認証保育所5か所 保育室1か所 子ども家庭支援センター 1か所  両親が就労により特定保 育を利用している利用者 への負担軽減 私立保育所12か所	私立保育所12か所 市立保育所1か所 認証保育所5か所 保育室1か所 子ども家庭支援センター 1か所  両親が就労により特定保 育を利用している利用者 への負担軽減 私立保育所12か所	私立保育所12か所 市立保育所1か所 認証保育所5か所 保育室1か所 子ども家庭支援センター 1か所  両親が就労により特定保 育を利用している利用者 への負担軽減 私立保育所12か所				特定保育利用者の負担軽 減を図る
平成22年度の 担当課評価	保護者の入院や息抜き・就労により一時・特定保育を行いました。また、特定保育では利用日数に応じた利用料金の負担軽減を行いました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

48 ファミリー・サポート・センター事業(再掲)								子育て支援課
育児の援助を受けたい市民と、援助を行いたい市民の間に立ち、子育てに関する相互援助活動の支援や調整を行います。また、ファミリー・サポート・センター事業の周知を図るためポスター掲示をし たり、提供会員の育成を図るため育成講習会を実施するとともに、提供会員の増加に努めます。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	会員数 1,219人 活動件数 6,628件	会員数 1,270人 活動件数 6,700件	会員数 1,385人 活動件数 5,908件	会員数 1,280人 活動件数 6,000件				年総会員数 1,500人 提供会員 400人 活動件数 7,000件
平成22年度の 担当課評価	課題である会員数は広報に工夫をしたところ増加しました。活動件数については、地震等の影響により伸びませんでした。引き続き提供会員の増加に努めてまいります。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	活動件数については、地震等の影響により伸びませんでした。							
備考								

49 トワイライトステイ(再掲)								子育て支援課
共働きや残業などで、恒常的に帰宅の遅い保護者に代わり施設内であずかります。学校や保育所へのお迎えと、食事などの提供も行います。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	実施施設 2施設 定員 65人 延べ利用人数 5,938人	実施施設 2施設 定員 65人 延べ利用人数 6,042人	実施施設 2施設 定員 65人 延べ利用人数 6,047人	実施施設 2施設 定員 65人 延べ利用人数 6,200人				延べ利用人数 7,000人
平成22年度の 担当課評価	高倉保育所の利用者が増加し、一方しらとりの利用者は減少しています。3月の後半は計画停電予定等で両施設ともサービスを停止しましたが、昨年より増加しました。高倉保育所では昨年に引き続き、予約の段階で定員を超えてしまうため利用できない方が出ており、2施設の有効な利用方法の検討が必要です。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

50 延長保育								保育課
市立保育所及び私立保育園で、夕方から夜にかけて保育が必要な子どもをあずかる時間延長保育を行います。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	19時まで 23施設 20時まで 7施設 21時まで 1施設 22時まで 2施設	19時まで 26施設 20時まで 8施設 21時まで 1施設 22時まで 2施設	19時まで 26施設 20時まで 8施設 21時まで 1施設 22時まで 2施設	19時まで 26施設 20時まで 9施設 21時まで 1施設 22時まで 2施設				19時以上 全施設
平成22年度の 担当課評価	全施設で19時以上の延長保育を実施しました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								



51 保育所における質の向上のための取り組み(アクションプログラム)								保育課
施設長及び職員への研修、保育実践に関する調査研究、保育士による保育内容等の自己評価などを行い、保育の質の向上を図ります。								新規
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況		研修の充実 保育に関する研究の実施 自己評価の実施	研修の充実 保育に関する研究の実施 自己評価の実施	研修の充実 保育に関する研究の実施 自己評価の実施				研修の充実 保育に関する研究の実施 自己評価の実施
平成22年度の 担当課評価	市立保育所全体で様々な研修に取り組むとともに、私立保育園とも合同で研修を行いました。また、保育指針に基づき自己評価を行いました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

52 市立幼稚園園庭開放(再掲)								学務保健課
市立幼稚園の園庭開放を開園時間以外に開放し、在籍児はもとより未就園児、近隣幼児等の安全で安心して遊べる場所として提供するとともに、保護者の交流の場とします。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	市立幼稚園 3か所 週4回 園庭開放参加者 7,729人 矢崎幼稚園 2,558人 みどり幼稚園 2,278人 小柳幼稚園 2,893人	市立幼稚園 3か所 週4回 園庭開放参加者 7,000人 矢崎幼稚園 2,000人 みどり幼稚園 2,500人 小柳幼稚園 2,500人	市立幼稚園 3か所 週4回 園庭開放参加者 9,822人 矢崎幼稚園 2,263人 みどり幼稚園 5,119人 小柳幼稚園 2,440人	市立幼稚園 3か所 週4回 園庭開放参加者 7,100人 矢崎幼稚園 2,200人 みどり幼稚園 2,500人 小柳幼稚園 2,400人				子育て相談の充実
平成22年度の 担当課評価	本事業は、幼稚園児の保護者にも定着している事業であり、実施目標を上回る成果が得られました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

53 市立幼稚園障害児保育								学務保健課
心身に障害がある幼児又は運動発達遅滞、精神発達遅滞などが疑われる幼児に対する幼児教育を充実します。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	各園4歳児1名	矢崎幼稚園 4人 みどり幼稚園 3人 小柳幼稚園 3人	矢崎幼稚園 3人 みどり幼稚園 3人 小柳幼稚園 3人	矢崎幼稚園 4人 みどり幼稚園 4人 小柳幼稚園 4人				各園4歳児2名・5歳児2名の受入
平成22年度の 担当課評価	各園3名の心身に障害がある幼児又は運動発達遅滞、精神発達遅滞などが疑われる幼児を受入れ、健常児とともに幼児教育を行っており、おおむね実施目標を達成できています。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

#### 目標4 母と子どもの健康支援

54 新生児訪問(乳児家庭全戸訪問)(再掲)								健康推進課
生後4か月までの乳児(未熟児を含む)のいる家庭を訪問し、乳児の発育・栄養・生活環境及び疾病予防等育児に必要な事項について、より適切な指導を行います。また、疾病や異常の早期発見や治療等について助言し、育児不安を解消し、安心して育児に臨むことができるように支援し、児童虐待の予防を図ります。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	新生児訪問 実人員 1,547人 延人員 1,649人	新生児訪問 実人員1,800人 延人員1,850人	新生児訪問 実人員2,172人 延人員2,265人	新生児訪問 実人員2,000人 延人員2,100人				4か月までの乳児のいる家庭の全戸訪問及び必要な家庭への支援
平成22年度の 担当課評価	平成22年度から、子育て支援課に新生児訪問につながる連絡票を設置し、より多くの訪問につなげられるよう協力体制を組んだことで、訪問数の増加につながっています。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

55 乳幼児訪問(再掲)							健康推進課	
育児上必要な事項及び健康管理について、家庭訪問により適切な指導を行います。 また、子どもの疾病や異常の早期発見や治療等について助言し、育児不安の解消や児童虐待の予防を図ります。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	策定時の目標
		実施目標	実績	実施目標	実績	実績	実績	
実施状況	訪問件数 実人員 392人 延人員 459人	訪問件数 350人 延人員450人	訪問件数 実人員 446人 延人員 552人	訪問件数 400人 延人員 450人				適切な時期での訪問及び 指導・助言の実施 関係機関との連携、支援
平成22年度の 担当課評価	健診未受診者や、不安の強い母子などを訪問につなげ、フォローを重点的に行っています。特に、平成23年3月の震災後は、保健師による訪問により心理的サポートを行いました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

56 3～4か月児健康診査・産婦健康診査(再掲)							健康推進課	
健康診査により、疾病や障害等の早期発見・早期対応を図ります。また、育児不安の解消及び親子の交流の場として活用し、子育て相談や子育て情報提供を行います。 子ども一人ひとりを大切にするため、健康診査データを管理し、未受診者0(ゼロ)を目指すことにより、児童虐待の予防や養育困難家庭への早期支援を図ります。 また、要支援児童については、適切な支援ができるように関係機関との連携を図ります。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	策定時の目標
		実施目標	実績	実施目標	実績	実績	実績	
実施状況	3～4か月児健康診査 月3回 受診者数 2,248人 受診率 97.4% 産婦健康診査 月3回 受診者数 2,223人 受診率 97.3%	訪問件数 350人 延人員450人	3～4か月児健康診査 月3回 受診者数 2,371人 受診率 97.9% 産婦健康診査 月3回 受診者数 2,337人 受診率 97.7%	3～4か月児健康診査 月3回 受診率 98% 産婦健康診査 月3回 受診率 98%				適切な時期での訪問及び 指導・助言の実施 関係機関との連携、支援
平成22年度の 担当課評価	特に平成23年3月以降は計画停電による交通網の変動や震災に伴う母の不安(ミルクの確保や放射能の影響など)の相談が相次ぎ、保健師等専門職が対応して必要な場合は訪問等を実施しました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	受診率が目標に達していませんが、生後4か月の乳児が対象のため、健診日の天候等が受診率につながりやすいことによります。							
備考								

57 1歳6か月児健康診査(再掲)								健康推進課
健康診査により、疾病や障害等の早期発見・早期対応を図ります。また、育児不安の解消及び親子の交流の場として活用し、子育て相談や子育て情報提供を行います。子ども一人ひとりを大切にするため、健康診査データを管理し、未受診者0(ゼロ)を目指すことにより、児童虐待の予防や養育困難家庭への早期支援を図ります。また、要支援児童については、適切な支援ができるよう関係機関との連携を図ります。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	月4回 受診者数 2,269人 受診率 95.1%	月4回 受診率 98%	月4回 受診者数 2,212人 受診率 94.1%	月4回 受診率 98%				未受診者0(ゼロ)を目指す
平成22年度の 担当課評価	未受診児の訪問等を行い、チェックリストに基づいて体系的にフォローを継続しました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	3月11日の震災以降の計画停電等の影響もあり、健診受診者に減少が見られました。							
備考								

58 3歳児健康診査(再掲)								健康推進課
健康診査により、疾病や障害等の早期発見・早期対応を図ります。また、育児不安の解消及び親子の交流の場として活用し、子育て相談や子育て情報提供を行います。子ども一人ひとりを大切にするため、健康診査データを管理し、未受診者0(ゼロ)を目指すことにより、児童虐待の予防や養育困難家庭への早期支援を図ります。また、要支援児童については、適切な支援ができるよう関係機関との連携を図ります。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	月3回 受診者数 2,000人 受診率 92.6%	月3回 受診率 95%	月3回 受診者数 2,164人 受診率 92.5%	月3回 受診率 95%				未受診者0(ゼロ)を目指す
平成22年度の 担当課評価	未受診児の訪問等を行い、チェックリストに基づいて体系的にフォローを継続しました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	保育園、幼稚園に通っている3歳児の未受診などによります。							
備考								

59 母子健康手帳の配布(再掲)								健康推進課
妊娠届時の母子健康手帳配布時に分かりやすい情報提供を行います。その際、アンケートを全件実施し、特定妊婦などの早期発見・早期支援や児童虐待の予防を図ります。また、配布時の相談体制を充実するため、保健センター分館での配布を積極的に推進していきます。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	妊娠届出数 2,460件 母子健康手帳配布数 2,469冊	妊娠届出数 2,400件 母子健康手帳配付数 2,450冊	妊娠届出数 2,466件 母子健康手帳配付数 2,479冊	子育て支援課保健師との 連携強化				配布時の相談体制の充実 妊娠中から支援を行った ケースの増加
平成22年度の 担当課評価	平成22年7月1日から妊娠届提出時にアンケートを実施し、悩みや不安を抱える妊婦の早期把握とフォローにつなげることができました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

60 子育てサイトの充実(再掲)								子育て支援課
パソコンや携帯を活用し、子育て団体のホームページにおいて子育て家庭が意見交換できるよう、コミュニティサイトの充実を図ります。								新規
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況		子育てサイトの研究・検討	子育て専用サイトの研究・ 検討を行いました。	子育てサイトの構築・開設				いつでもどこでもだれでも 気軽に活用できる、子育て 家庭のコミュニティサイトの 充実
平成22年度の 担当課評価	子育て専用サイトの研究・検討を行い、平成23年度に子育てサイトの構築を進めてまいります。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

61 子育て情報の提供(再掲)								子育て支援課
母子健康手帳配布時や子育て支援課・子ども家庭支援センター「たち」等で、子育て情報誌「子育てのたまたま箱」を配布し、子育て情報の周知を図ります。また、タイムリーな子育て情報を提供できるよう、母子健康手帳の配布時や健康診査時に一時保育、トワイライトステイ、ファミリー・サポート・センター事業、児童虐待防止などの情報提供をします。								重点
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	母子健康手帳配布時、子育て支援課・子ども家庭支援センター「たち」・文化センター・女性センター・市政情報センター等における子育て情報誌「子育てのたまたま箱」の配布  内容を充実させた改訂版の発行	母子健康手帳配布時、子育て支援課・子ども家庭支援センター「たち」・文化センター・女性センター・市政情報センター等における子育て情報誌「子育てのたまたま箱」の配布及び転入者に対する子育て支援課での乳児医療証申請時における子育てのたまたま箱の配布	母子健康手帳配布時、子育て支援課・子ども家庭支援センター「たち」・文化センター・女性センター・市政情報センター等で、子育て情報誌「子育てのたまたま箱」を配布しました。また、転入者に対しては、子育て支援課にて乳児医療証申請時に子育てのたまたま箱を配布しました。年齢に合わせたリーフレットを作成し、健康診査時に配布しました。	母子健康手帳配布時、子育て支援課・子ども家庭支援センター「たち」・文化センター・女性センター・市政情報センター等における子育て情報誌「子育てのたまたま箱」の配布及び転入者に対する子育て支援課での乳児医療証申請時における子育てのたまたま箱の配布  健康診査時における年齢に合わせたリーフレットの配布				転入してくる子育て世帯への「子育てのたまたま箱」の配布 妊娠中の転入者への「子育てのたまたま箱」の配布に向けて転入時における案内の配布と希望者への送付 健康診査等における子育て情報パンフレットの配布
平成22年度の担当課評価	年齢に応じたリーフレットを作成し、健康診査時に配布することで子育て中の親に対して今受けられるタイムリーな子育て情報を提供することができました。							
平成22年度目標を達成できなかった理由	*****							
備考								

62 児童館における情報提供(再掲)								子育て支援課 市民活動支援課
子ども家庭支援センター「たち」や文化センター(児童館)において、それぞれの地域で実施している子育て情報などや市内で実施している子育て情報などを掲示し、情報提供を充実します。								重点
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	文化センターや市内で実施している子ども向けサークルや事業について、各文化センターの掲示板への掲載	文化センターや市内で実施している子ども向けサークルや事業について、各文化センターの掲示板やホームページへの掲載	文化センター事業をはじめ関係課より依頼のあった事業について掲示物やチラシで情報提供を行いました。またホームページへの掲載も行いました。	文化センターや市内で実施している子ども向けサークルや事業について、各文化センターの掲示板やホームページへの掲載				地域で実施している子育て情報の収集と提供
平成22年度の担当課評価	ホームページでの情報提供が充実してきている。							
平成22年度目標を達成できなかった理由	*****							
備考								

63 地域子育てクラス(再掲)								子育て支援課
子ども家庭支援センター「たち」を中心として、子どもとその保護者に対する総合相談事業を実施します。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	年12回 97組 相談件数 813件	年24回 親子交流の推進	年22回 279組の親子が参加	育児不安の強い親子の参加を促す。				育児不安や負担の解消、軽減のための相談実施 相談員のスキルアップ
平成22年度の 担当課評価	保護者同士の交流や親子遊び、子育て相談等を実施し、身近な地域での活動を行うことができました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	震災直後、参加者の不安や会場の安全等を考慮し、2回分の実施を見合わせたことによります。							
備考								

64 妊婦健康診査								健康推進課
健康診査を行い、健康管理に努めることにより、妊産婦及び乳児の死亡率の低下を図るとともに、母子の健康と健全な養育環境を確保します。 特定妊婦の早期発見・早期対応を図るため、医療機関との連携を強化します。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	1回目 2,355人 2回目 2,775人 3回目 1,963人 4回目 1,968人 5回目 1,745人 超音波検査(35歳以上)	14回の妊婦健康診査の公費負担の継続	14回の妊婦健康診査の公費負担の継続 延受診件数:40,552件	14回の妊婦健康診査の公費負担の継続				受診率の向上 医療機関との連携体制の整備
平成22年度の 担当課評価	妊婦健康診査の14回の公費助成は、国・東京都の補助がないと市の財政負担が大きく、継続が厳しいと考えます。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

65 発達健康診査							健康推進課	
健康診査や相談事業の結果、運動発達遅滞、精神発達遅滞などが疑われる乳幼児に重点をおいて、発達健康診査を行い、早期発見、早期療育へとつないでいけるよう支援します。また、適切な支援ができるよう関係機関との連携を図ります。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	月1回 受診者数 67人	月1回 各種健診の要フォロー児の早期発見と療育につなげる	月1回 受診者数41人	月1回 各種健診の要フォロー児の早期発見と療育につなげる				早期に専門的な支援をするため、関係機関との連携を強化
平成22年度の 担当課評価	発達健康診査から必要なケースは専門医療機関等につなげています。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

## 目標5 ひとり親家庭への支援

66 母子自立支援の相談							子育て支援課	
各母子家庭の状況や自立の阻害要件等の様々な問題について相談に応じ、自立に必要な情報提供や支援を行います。また、ひとり親家庭への支援情報について検索しやすい環境を整備し、提供方法の充実を図ります。 (1) 各母子家庭の抱える様々な問題について相談に応じ、それぞれの状況に合わせた支援をします。 (2) 就労に関する相談について、ハローワーク等の他機関との連携を強化して、相談体制を充実します。 (3) 母子自立支援プログラム事業についての情報を周知し、自立につながる環境を整備します。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	支援員 2人	支援員 2人	支援員 2人	支援員 3人				母子家庭の精神的・経済的自立に向けての積極的な支援
平成22年度の 担当課評価	目標値を達成し、母子家庭への支援を充実できました。また、母子の自立を図るための事業を実施し、自立につながる環境整備に努めることができました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								



67 ひとり親(母子・父子)家庭ホームヘルプサービス								子育て支援課
義務教育修了前の児童がいるひとり親家庭に対し、一定の要件に該当する場合、ホームヘルパーを派遣します。 派遣時間は、原則1日のうち午前7時～午後10時までの間で8時間(派遣回数は1日1回) 派遣回数は、1か月最大16回。ただし、技能修得のため職業開発センター等に通学している場合は1か月24回。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	派遣世帯 37世帯 派遣回数 延べ 2,122回	派遣世帯 29世帯 派遣回数 延2,122回	派遣世帯 23世帯 派遣回数 延1,410回	派遣世帯 31世帯 派遣回数 延1,666回				ひとり親家庭の精神的・経済的自立に向けての積極的な支援
平成22年度の 担当課評価	ホームヘルパーの派遣は利用者の申請によるものであるため、見込みより派遣世帯及び回数が少ない結果となっています。 派遣に当たっては必要性を見極め、適正な派遣に努めました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考	実施目標欄については、派遣実施の見込数を記載しました。							

68 児童扶養手当								子育て支援課
18歳に達する年度末まで(中度以上の障害のある20歳未満)の児童を養育している母又は養育者で一定の要件に該当する場合に手当を支給します。 また、手当の対象を父子家庭へ広げます。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	延対象者数 26,968人 1人目 41,720円 2人目 5,000円 3人目 3,000円	延対象者数 27,044人(父子家庭を含む) 1人目 41,720円 2人目 5,000円 3人目 3,000円 父子家庭に支給を平成22年8月分より開始	延対象者数 27,306人(父子家庭を含む) 1人目 41,720円 2人目 5,000円 3人目 3,000円 父子家庭に支給を平成22年8月分より開始	延対象者数 27,360人(父子家庭を含む) 1人目 41,720円 2人目 5,000円 3人目 3,000円				父子家庭への拡大 延対象者数 4,284人
平成22年度の 担当課評価	平成22年度は父子家庭も新に対象となり、対象者数が増えています。適切な給付に努めています。 なお、父子家庭も対象となったため、対象者数の見込みもそれを考慮し設定しましたが、それ以上に対象者数が増えています。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考	実施目標欄については、対象者の見込数を記載しました。							

## 目標6 障害のある子どもと家庭への支援

69 障害者相談支援事業(再掲)							障害者福祉課	
委託相談支援事業所「み～な」「あけぼの」「プラザ」において、総合的・一元的相談体制を確立し、障害者が適切なサービスを総合的・効果的に利用できるようにするとともに、関係機関との連携を強化し、相談支援機能の充実を図ります。また、高次脳機能障害・発達障害について、啓発事業の実施、関係機関との連携を図るなど必要な支援を行います。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	相談支援実施件数と利用延べ人数 み～な 4,622件 7,955人 あけぼの 2,490件 4,700人 プラザ 5,341件 5,187人	相談支援実施件数と利用延べ人数 み～な 4,850件 8,400人 あけぼの 2,650件 5,000人 プラザ 5,400件 5,400人	相談支援実施件数と利用延べ人数 み～な 4,387件 6,874人 あけぼの 3,581件 6,540人 プラザ 4,335件 4,335人	・委託相談支援事業所との連絡会を充実させる。 ・相談支援実施件数と利用延べ人数 み～な 4,600件 7,200人 あけぼの 4,000件 7,300人 プラザ 5,400件 5,400人				指定相談支援事業所 3か所以上 相談支援件数 17,000件
平成22年度の 担当課評価	委託している3か所の相談支援事業所と市担当者の定期連絡会を行い、連携を強化し相談機能の充実を図りました。平成22年度から、高次脳機能障害に係る相談支援や啓発事業を実施したほか、精神保健福祉事例検討会を行い困難な事例に対する相談対応のスキルアップと関係機関との連携強化を図りました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	相談支援事業の評価は相談件数だけでは行えない。引き続き「相談件数・人数」を評価指標とはしますが、複雑化・多様化する困難事例にも対応できるよう相談支援機能の充実に努めます。							
備考								

70 3～4か月児健康診査・産婦健康診査(再掲)							健康推進課	
健康診査により、疾病や障害等の早期発見・早期対応を図ります。また、育児不安の解消及び親子の交流の場として活用し、子育て相談や子育て情報提供を行います。子ども一人ひとりを大切にするため、健康診査データを管理し、未受診者0(ゼロ)を目指すことにより、児童虐待の予防や養育困難家庭への早期支援を図ります。また、要支援児童については、適切な支援ができるよう関係機関との連携を図ります。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	3～4か月児健康診査 月3回 受診者数 2,248人 受診率 97.4% 産婦健康診査 月3回 受診者数 2,223人 受診率 97.3%	3～4か月児健康診査 月3回 受診率 98% 産婦健康診査 月3回 受診率 98%	3～4か月児健康診査 月3回 受診者数 2,371人 受診率 97.9% 産婦健康診査 月3回 受診者数 2,337人 受診率 97.7%	3～4か月児健康診査 月3回 受診率 98% 産婦健康診査 月3回 受診率 98%				適切な時期での訪問及び 指導・助言の実施 関係機関との連携、支援
平成22年度の 担当課評価	特に平成23年3月以降は計画停電による交通網の変動や震災に伴う母の不安(ミルクの確保や放射能の影響など)の相談が相次ぎ、保健師等専門職が対応して必要な場合は訪問等を実施しました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	受診率が目標に達していませんが、生後4か月の乳児が対象のため、健診日の天候等が受診率につながりやすいことによります。							
備考								

71 1歳6か月児健康診査(再掲)							健康推進課	
健康診査により、疾病や障害等の早期発見・早期対応を図ります。また、育児不安の解消及び親子の交流の場として活用し、子育て相談や子育て情報提供を行います。子ども一人ひとりを大切にするため、健康診査データを管理し、未受診者0(ゼロ)を目指すことにより、児童虐待の予防や養育困難家庭への早期支援を図ります。また、要支援児童については、適切な支援ができるよう関係機関との連携を図ります。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	月4回 受診者数 2,269人 受診率 95.1%	月4回 受診率 98%	月4回 受診者数 2,212人 受診率 94.1%	月4回 受診率 98%				未受診者0(ゼロ)を目指す
平成22年度の 担当課評価	未受診児の訪問等を行い、チェックリストに基づいて体系的にフォローを継続しました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	3月11日の震災以降の計画停電等の影響もあり、健診受診者に減少が見られました。							
備考								

72 3歳児健康診査(再掲)							健康推進課	
健康診査により、疾病や障害等の早期発見・早期対応を図ります。また、育児不安の解消及び親子の交流の場として活用し、子育て相談や子育て情報提供を行います。子ども一人ひとりを大切にするため、健康診査データを管理し、未受診者0(ゼロ)を目指すことにより、児童虐待の予防や養育困難家庭への早期支援を図ります。また、要支援児童については、適切な支援ができるよう関係機関との連携を図ります。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	月3回 受診者数 2,000人 受診率 92.6%	月3回 受診率 95%	月3回 受診者数 2,164人 受診率 92.5%	月3回 受診率 95%				未受診者0(ゼロ)を目指す
平成22年度の 担当課評価	未受診児の訪問等を行い、チェックリストに基づいて体系的にフォローを継続しました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	保育園、幼稚園に通っている3歳児の未受診などによります。							
備考								

73 発達健康診査(再掲)							健康推進課	
健康診査や相談事業の結果、運動発達遅滞、精神発達遅滞などが疑われる乳幼児に重点をおいて、発達健康診査を行い、早期発見、早期療育へとつないでいけるよう支援します。また、適切な支援ができるよう関係機関との連携を図ります。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	月1回 受診者数 67人	月1回 各種健診の要フォロー児の早期発見と療育につなげる	月1回 受診者数41人	月1回 各種健診の要フォロー児の早期発見と療育につなげる				早期に専門的な支援をするため、関係機関との連携を強化
平成22年度の 担当課評価	発達健康診査から必要なケースは専門医療機関等につなげています。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

74 障害児保育(再掲)							保育課	
心身に障害のある子どもの保護者のニーズに応えるため、民間保育所の新設時などにあわせて入所定員枠を拡大します。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	63人	65人	68人	65人				受け入れ増
平成22年度の 担当課評価	障害児の受入に努めました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

75 市立幼稚園障害児保育(再掲)								学務保健課
心身に障害がある幼児又は運動発達遅滞、精神発達遅滞などが疑われる幼児に対する幼児教育を充実します。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	各園4歳児1名	矢崎幼稚園 4人 みどり幼稚園 3人 小柳幼稚園 3人	矢崎幼稚園 3人 みどり幼稚園 3人 小柳幼稚園 3人	矢崎幼稚園 4人 みどり幼稚園 4人 小柳幼稚園 4人				各園4歳児2名・5歳児2名の受入
平成22年度の 担当課評価	各園3名の心身に障害がある幼児又は運動発達遅滞、精神発達遅滞などが疑われる幼児を受入れ、健常児とともに幼児教育を行っており、おおむね実施目標を達成できています。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

76 学童クラブ								児童青少年課
保護者が就労等により昼間家庭にいないおおむね小学校3年生までの児童の健全育成を行います。7ブロック制による事業運営により、効率化と育成水準の向上を図り、入会希望児童全員を受け入れます。 また、市民ニーズに合った学童クラブのあり方を検討します。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	22施設 1,765人	入会率 100% 22施設 1,761人(見込み)	入会率 100% 22施設 1,700人	入会率 100% 22施設 1,782人(見込み)				育成環境の充実
平成22年度の 担当課評価	入会率については、入会希望者の全員受け入れているため100%となっています。入会児童数については、近年の開発事業等の影響により就学児童数が急激に伸びてきましたが、大規模な開発事業も少なくなり、就学児童数の伸びも抑制された結果、見込みを下回っています。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

77 新生児訪問(乳児家庭全戸訪問)(再掲)							健康推進課	
生後4か月までの乳児(未熟児を含む)のいる家庭を訪問し、乳児の発育・栄養・生活環境及び疾病予防等育児に必要な事項について、より適切な指導を行います。また、疾病や異常の早期発見や治療等について助言し、育児不安を解消し、安心して育児に臨むことができるように支援し、児童虐待の予防を図ります。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	策定時の目標
		実施目標	実績	実施目標	実績	実績	実績	
実施状況	新生児訪問 実人員 1,547人 延人員 1,649人	新生児訪問 実人員1,800人 延人員1,850人	新生児訪問 実人員2,172人 延人員2,265人	新生児訪問 実人員2,000人 延人員2,100人				4か月までの乳児のいる家庭の全戸訪問及び必要な家庭への支援
平成22年度の 担当課評価	平成22年度から、子育て支援課に新生児訪問につながる連絡票を設置し、より多くの訪問につなげられるよう協力体制を組んだことで、訪問数の増加につながっています。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

78 乳幼児訪問(再掲)							健康推進課	
育児上必要な事項及び健康管理について、家庭訪問により適切な指導を行います。また、子どもの疾病や異常の早期発見や治療等について助言し、育児不安の解消や児童虐待の予防を図ります。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	策定時の目標
		実施目標	実績	実施目標	実績	実績	実績	
実施状況	訪問件数 実人員 392人 延人員 459人	訪問件数 350人 延人員450人	訪問件数 実人員 446人 延人員 552人	訪問件数 400人 延人員 450人				適切な時期での訪問及び指導・助言の実施 関係機関との連携、支援
平成22年度の 担当課評価	健診未受診者や、不安の強い母子などを訪問につなげ、フォローを重点的に行っています。特に、平成23年3月の震災後は、保健師による訪問により心理的サポートを行いました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

79 児童扶養手当(再掲)							子育て支援課	
18歳に達する年度末まで(中度以上の障害のある20歳未満)の児童を養育している母又は養育者で一定の要件に該当する場合に手当を支給します。また、手当の対象を父子家庭へ広げます。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	延対象者数 26,968人 1人目 41,720円 2人目 5,000円 3人目 3,000円	延対象者数 27,044人(父子家庭を含む) 1人目 41,720円 2人目 5,000円 3人目 3,000円 父子家庭に支給を平成22年8月分より開始	延対象者数 27,306人(父子家庭を含む) 1人目 41,720円 2人目 5,000円 3人目 3,000円 父子家庭に支給を平成22年8月分より開始	延対象者数 27,360人(父子家庭を含む) 1人目 41,720円 2人目 5,000円 3人目 3,000円				父子家庭への拡大 延対象者数 4,284人
平成22年度の 担当課評価	平成22年度は父子家庭も新に対象となり、対象者数が増えています。適切な給付に努めています。なお、父子家庭も対象となったため、対象者数の見込みもそれを考慮し設定しましたが、それ以上に対象者数が増えています。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

## 目標7 次代を担う人の育成と教育の充実

80 青少年健全育成強調事業							児童青少年課	
市内11地区の青少年対策地区委員会が連携して、酒、たばこ、薬物そして性に関する正しい知識の周知やインターネットに潜在する危険から子どもを守るためフィルタリングの推奨など青少年の健全育成に対する理解を深める活動を実施します。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	不健全図書の陳列区分調査等も含め、国が実施する「青少年の非行問題に取り組む全国強調月間」(7月)に合わせたふれあい事業、並びに「全国青少年健全育成強調月間」(11月)に合わせた街頭広報等の実施	不健全図書の陳列区分調査等も含め、国が実施する「青少年の非行・被害防止全国強調月間」(7月)に合わせたふれあい事業、並びに「子ども・若者育成支援強調月間」(11月)に合わせた街頭広報等の実施	不健全図書の陳列区分調査等も含め、国が実施する「青少年の非行・被害防止全国強調月間」(7月)に合わせたふれあい事業、並びに「子ども・若者育成支援強調月間」(11月)に合わせた街頭広報等の実施	不健全図書の陳列区分調査等も含め、国が実施する「青少年の非行・被害防止全国強調月間」(7月)に合わせたふれあい事業、並びに「子ども・若者育成支援強調月間」(11月)に合わせた街頭広報等の実施				青少年が健全に育成される、社会環境の整備
平成22年度の 担当課評価	市内11地区の青少年対策地区委員会が連携して、青少年の健全育成のため社会環境の整備に努めました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

81 健康教育								指導室
心身の健康の保持増進に努め、一人ひとりの健康課題に対応するため、児童・生徒が自ら考え健康的な生活を実践する健康教育を推進します。喫煙防止や薬物乱用防止は保健の授業を中心に指導し、各学校の教育課程に適正に位置づけ、重点的に指導します。また、警察との連携でセーフティ教室や薬物乱用防止教室にも取り組むなど、健康教育を積極的に推進します。特に、児童・生徒の体力の向上については差し迫って重要な課題ですので、体力テストの実施結果を分析し、体力向上モデルプランの検証授業を実施します。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	体力テストの全校実施 喫煙防止教育・薬物乱用 防止教育の実施	体力テストの実施 喫煙防止教育・薬物乱用 防止教育の実施	小中学校全校で体力テス トの実施 セーフティ教室等で喫煙 防止教育・薬物乱用防止 教育の実施	都の体力テストの実施及 び結果分析 セーフティ教室等で喫煙 防止教育・薬物乱用防止 教育の実施				体力向上委員会の活用 体力・運動能力向上のための方策を検討 体力・運動能力向上モデル校の指定 体力向上モデルプランの作成 喫煙防止教育・薬物乱用防止教育の継続実施 保健学習における充実を図り、小・中連携を視野に入れた教育の実施
平成22年度の 担当課評価	体力テストを全校で実施し、結果分析し、体力向上を図るとともに、喫煙や薬物乱用防止教育を継続して実施しました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

82 性教育								指導室
学校では、性教育については、学習指導要領に従い、保健の授業の中で指導しています。特に、児童・生徒が自己の心身の変化について気づき、主体的に学習を進めることやエイズ等の感染症についても指導を行っています。今後とも、児童・生徒が正しい知識に基づく適切な行動ができるよう、生活指導の充実を図っていきます。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	学習指導要領に基づいた、児童・生徒の発達段階や特性に応じた性に関する指導の実施	学習指導要領に基づいた、児童・生徒の発達段階や特性に応じた性に関する指導の実施	学習指導要領に基づいた、児童・生徒の発達段階や特性に応じた性に関する指導の実施	学習指導要領に基づいた、児童・生徒の発達段階や特性に応じた性に関する指導の実施				継続して実施並びに性被害防止等の指導の充実
平成22年度の 担当課評価	学習指導要領に基づいた指導を実施しています。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								



83 子育て情報の提供(再掲)								子育て支援課
母子健康手帳配布時や子育て支援課・子ども家庭支援センター「たち」等で、子育て情報誌「子育てのたまたま箱」を配布し、子育て情報の周知を図ります。また、タイムリーな子育て情報を提供できるよう、母子健康手帳の配布時や健康診査時に一時保育、トワイライトステイ、ファミリー・サポート・センター事業、児童虐待防止などの情報提供をします。								重点
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	母子健康手帳配布時、子育て支援課・子ども家庭支援センター「たち」・文化センター・女性センター・市政情報センター等における子育て情報誌「子育てのたまたま箱」の配布  内容を充実させた改訂版の発行	母子健康手帳配布時、子育て支援課・子ども家庭支援センター「たち」・文化センター・女性センター・市政情報センター等における子育て情報誌「子育てのたまたま箱」の配布及び転入者に対する子育て支援課での乳児医療証申請時における子育てのたまたま箱の配布	母子健康手帳配布時、子育て支援課・子ども家庭支援センター「たち」・文化センター・女性センター・市政情報センター等における子育て情報誌「子育てのたまたま箱」を配布しました。また、転入者に対しては、子育て支援課にて乳児医療証申請時に子育てのたまたま箱を配布しました。年齢に合わせたリーフレットを作成し、健康診査時に配布しました。	母子健康手帳配布時、子育て支援課・子ども家庭支援センター「たち」・文化センター・女性センター・市政情報センター等における子育て情報誌「子育てのたまたま箱」の配布及び転入者に対する子育て支援課での乳児医療証申請時における子育てのたまたま箱の配布 健康診査時における年齢に合わせたリーフレットの配布				転入してくる子育て世帯への「子育てのたまたま箱」の配布 妊娠中の転入者への「子育てのたまたま箱」の配布に向けて転入時における案内の配布と希望者への送付 健康診査等における子育て情報パンフレットの配布
平成22年度の担当課評価	年齢に応じたリーフレットを作成し、健康診査時に配布することで子育て中の親に対して今受けられるタイムリーな子育て情報を提供することができました。							
平成22年度目標を達成できなかった理由	*****							
備考								

84 いじめ、不登校、問題行動への対応								指導室
いじめ、不登校、問題行動等は子どもの健全育成上の重要な課題ととらえ、早期発見、早期対応を心がけるとともに、教員が保護者等と連携し、子どものわずかな変化も見逃さないようアンテナを高くするなど、未然防止に向けた取り組みを積極的に推進します。 サポートチーム作りの推進、関係機関との連携強化、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用など、問題解決に向け、積極的な対応を行っています。								重点
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	問題の早期発見、早期対応など、未然防止に向けた取り組みを実施 関係諸機関と連携を強化する中で取り組みを推進	問題の早期発見、早期対応など、未然防止に向けた取り組みを実施 関係諸機関と連携を強化する中で取り組みを推進	問題の早期発見、早期対応など、未然防止に向けた取り組みを実施 関係諸機関と連携を強化する中で取り組みを推進	問題の早期発見、早期対応など、未然防止に向けた取り組みを実施 関係諸機関と連携を強化する中で取り組みを推進				関係機関との連携強化 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用
平成22年度の担当課評価	生活指導主任を中心に、未然防止に向けた取組みを行い、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーや各関係機関と連携し解決にあたりました。							
平成22年度目標を達成できなかった理由	*****							
備考								

85 少人数指導等事業							指導室	
児童・生徒の学習の習熟に程度の差がつきやすいといわれている教科において、学習内容のつまづきや進度の程度に応じ、少人数編制による授業や複数の教員による個別指導など、きめ細かい指導を行います。個々の児童・生徒がもつ学習スタイル・方法の違いへの対応を、少人数指導やチームティーチングとして、複数の教員が分担・協力して指導し、充実した授業を展開します。							重点	
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	すべての学校における算数・数学の少人数及びTT指導の実施 新たに理科指導支援員の全校配置 指導方法及び指導体制の充実	すべての学校における算数・数学の少人数またはTT指導の実施 理科指導支援員の配置 指導方法及び指導体制の充実	すべての学校における算数・数学の少人数またはTT指導の実施 理科指導支援員の配置 指導方法及び指導体制の充実	すべての学校における算数・数学の少人数またはTT指導の実施 理科指導支援員の配置 指導方法及び指導体制の充実				全ての学校における算数・数学の少人数及びTT指導の実施 理科指導支援員の全校配置の継続 指導方法及び指導体制の充実
平成22年度の担当課評価	東京都の加配教員及び市費講師により、全ての算数・数学の授業を少人数指導又はチームティーチングで実施しました。また、小・中学校に理科指導支援員を配置して、理科の授業の充実を継続しました。							
平成22年度目標を達成できなかった理由	*****							
備考								

86 小学校国際理解教育							指導室	
21世紀を担う児童が、これからの国際社会に対応できるよう、外国の文化や生活、日本の文化などについて、英語活動などの体験的な学習を通して、国際社会に生きるために必要な基本的資質や能力、態度を養います。							重点	
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	3年生以上の学級数×15時間	▼ALTを活用した授業 ・小学校第3～4学年 1学級年間15時間 ・小学校第5～6学年 1学級年間25時間	▼ALTを活用した授業 ・小学校第3～4学年 1学級年間15時間 ・小学校第5～6学年 1学級年間25時間	▼ALTを活用した授業 ・小学校第3～4学年 2年間で1学級計20時間 ・小学校第5～6学年 1学級年間25時間				新学習指導要領に基づいた充実 ALT配置時数の拡大
平成22年度の担当課評価	3～4学年は、総合的な学習の時間、5～6学年は外国語活動の時間でALTを活用した国際理解教育を実施しました。							
平成22年度目標を達成できなかった理由	*****							
備考								

87 学校教育ネットワーク							総務課	
子どもの情報活用能力の育成のため、市立小中学校33校、教育委員会、教育センター及び給食センターを結ぶ学校教育ネットワークを整備し、ICT(情報通信技術)を広く活用していきます。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	①学習支援システム ②教員支援システム ③校務支援システムの活用	情報教育ソフトの配信	グループウェアについて、現在のシステム環境により適したものとなるよう最新のバージョンに更新しました。	学びの扉(学校教育ネットワーク)における、校務支援システムの充実及び教務システムの導入を要望。グループウェアの活用の拡大。				教育委員会システム等の構築・活用 既存のネットワークシステムの活用・改善・充実
平成22年度の担当課評価	システムの導入や改修には莫大な費用が伴うため、長期的な計画を考え実現化を目指したいと考えます。							
平成22年度目標を達成できなかった理由	すべてのシステム導入にはサーバー・パソコンのバージョンの最新化等が不可欠ですが、予算確保ができなかったため。							
備考								

88 情報化社会における教育の充実							指導室	
インターネットの問題について、社会科や技術家庭科、総合的な学習の時間などの教科・領域で指導するとともに、生活指導上の問題と捉え、学級活動の場面でも継続的に指導していきます。啓発リーフレットの活用を図るとともに、警察等との連携ですべての学校で毎年実施しているセーフティ教室でも情報モラルをテーマに取り上げるなど、計画的、継続的に取り組みます。なお、セーフティ教室は保護者参加型の取り組みとし、保護者への啓発にもつながっています。今後とも内容の充実に努めながら、継続して指導の充実を図っていきます。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	ICT活用推進委員会の充実 社会科や技術家庭科などの教科等での指導 生活指導上の課題として継続的な指導 セーフティ教室の全校実施	ICT活用推進委員会の充実 社会科や技術家庭科などの教科等での指導 生活指導上の課題として継続的な指導 セーフティ教室の全校実施	ICT活用推進委員会での検討 社会科や技術家庭科などの教科等での指導 セーフティ教室の全校実施 情報モラルについて、生活指導として継続的指導	ICT活用推進委員会の充実 社会科や技術家庭科などの教科等での指導 生活指導上の課題として継続的な指導 セーフティ教室の全校実施				インターネットの問題について、関係機関と連携した指導の充実
平成22年度の担当課評価	ICT活用推進委員会で、情報機器の活用について検討するとともに、社会科や技術家庭科などの教科等で指導しました。またセーフティ教室を全校で実施し、生活指導上の課題として継続的指導を行いました。							
平成22年度目標を達成できなかった理由	*****							
備考								

89 職業観、就労意識の育成								指導室
望ましい職業観、勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てるためのキャリア教育を推進します。 特に、中学校においては職場体験を行うなど自らの将来の進路選択をより身近に感じることができる取り組みを行います。また、働くことのもつ意義を子どもたちが総合的に理解できるように、小学校段階から発達段階に応じて社会の仕組みや自己と社会との関係を理解できるようにするとともに将来の精神的・経済的自立を促す取り組みを行います。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	中学校全校職場体験5日間実施 子どもの発達段階に応じたキャリア教育の実施	中学校全校職場体験5日間実施 子どもの発達段階に応じたキャリア教育の実施	中学校全校の2年生が職場体験5日間実施 子どもの発達段階に応じたキャリア教育の実施	中学校全校職場体験5日間実施 子どもの発達段階に応じたキャリア教育の実施				子どもたちの発達段階に応じた職業観、就労意識の育成
平成22年度の 担当課評価	中学校全11校の2年生が職場体験学習を5日間実施し、職業観や就労意識の習得を行いました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

90 学校図書館								指導室
子どもたちの読書活動の推進や総合的な学習の時間の調べ学習など学校図書館のさらなる活用が求められることから、各学校に学校図書館指導補助員を配置し、学校図書館の機能の充実を図ります。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	小中学校 33校 指導補助員 週20時間	小中学校 33校 指導補助員 週20時間	小中学校 33校 指導補助員 週20時間	小中学校 33校 指導補助員 週20時間				専任司書教諭の配置(都へ要望) 都指導補助員の派遣時数拡大に向けた検討 学校図書システム化、ネットワーク化の進捗状況に合わせ総合的に指導方法等を検討
平成22年度の 担当課評価	小中学校全33校に指導補助員を週20時間配置し、読み聞かせなどを行い、子供たちの読書活動を支援しました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

91 八ヶ岳移動教室(セカンドスクール)							学務保健課	
学校の教育課程に位置づけて、現地で体験学習、集団生活及び体力増進を目的とした移動教室を実施します。また、長期の宿泊体験ができるセカンドスクールの実施を目指します							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	小学校5年生を対象に年1回八ヶ岳周辺で実施 二泊三日 22校 参加児童数 2,125人 参加率 99.3%	小学校5年生を対象に年1回八ヶ岳周辺で実施 二泊三日 20校 四泊五日 2校 (セカンドスクール) 参加児童数 2,155人 参加率 99.0%	小学校5年生を対象に年1回八ヶ岳周辺で実施 二泊三日 20校 四泊五日 2校 (セカンドスクール) 参加児童数 2,155人 参加率 99.0%	小学校5年生を対象に年1回八ヶ岳周辺で実施 四泊五日 22校 参加児童数 2,182人 参加率 99.0%				小学校5年生を対象に4泊5日で全校実施 八ヶ岳府中山荘を中心にして府中版セカンドスクールを実施 体験学習は、八ヶ岳周辺で実施
平成22年度の 担当課評価	実施目標に対し、実績は達成率100%となりました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

92 青少年健全育成市民活動							児童青少年課	
青少年対策地区委員会、PTA連合会、小中学校校長会及び府中警察署との連携のもとに、地域パトロールの実施や子ども緊急避難の家の普及など地域における青少年健全育成の充実を図ります。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	地域のパトロールや懇談会など地域活動 青少年健全育成協力店 120店 緊急避難の家 1,896件	地域のパトロールや懇談会など地域活動 青少年健全育成協力店 120店 緊急避難の家 1,896件	地域のパトロールや懇談会など地域活動 青少年健全育成協力店 133店 緊急避難の家 1,849件	地域のパトロールや懇談会など地域活動 青少年健全育成協力店 138店 緊急避難の家 1,849件				青少年が健全に育成される、社会環境の整備
平成22年度の 担当課評価	関係団体との連携のもと、地域における青少年健全育成のため、社会環境の整備に努めました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	緊急避難の家及び青少年健全育成協力店は毎年3月に更新作業を行っており、時点でもらえた件数には増減があるため。							
備考								

93 中学校部活動外部指導員								指導室
地域の人びとに部活動の指導員になっていただくことにより、市立中学校における部活動の振興を図ります。幅広く人材を確保するために、人材の登録制度も視野に入れて取り組んでまいります。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	22種目	部活動外部指導員の登用 83名	部活動外部指導員の登用 110名	教員の異動等により技術指導のできる顧問が不在となった部活動に対する部活動外部指導員の登用				時間数の拡大 人材の拡大
平成22年度の 担当課評価	昨年度までの48部活動に加え、新たに15の部活動において技術指導のできる顧問教諭が不在になったため、外部指導員を登用しました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

94 放課後子ども教室事業								児童青少年課
子どもの居場所づくりとして、小学校施設を活用して実施します。日々の子どもの見守りは委託したNPO法人や青少年育成団体が行います。学校の制度への理解と実施場所の提供や家庭と地域の方々の協力が不可欠であるため、実施校ごとに実行委員会を組織し、理解と協力を図ります。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	実施校 市内22校全校	実施校 市内22校全校	実施校 市内22校全校	実施校 市内22校全校				学童クラブとの連携をすすめる
平成22年度の 担当課評価	全校で実施することができましたが、耐震工事等の影響で実施日数が少ない学校もありました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

95 児童館の活用(再掲)								子育て支援課 市民活動支援課
市内11か所にある児童館において、子どもの遊び相手や話し相手となる児童館指導員を各館の状況に応じた配置を行ないます。また、児童館に子育てボランティアを配置し、親同士の交流や親子の交流、そして子育ての悩みを相談し合える場づくり、親同士の仲間づくりを図ります。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	[児童館指導員] 週5日(平日)4時間/日	[児童館指導員] 週5日(平日)3時間/日 夏休み等長期休暇中 4時間/日  [平日午前のボランティア 配置] 子育てボランティア配置の 検討	[児童館指導員] 週5日(平日)3時間/日 夏休み等長期休暇中 4時間/日  [平日午前のボランティア 配置] 文化センターの児童館の 午前中を利用した子育て ひろばについて検討しまし た。	[児童館指導員] 週5日(平日)3時間/日 夏休み等長期休暇中 4時間/日  [平日午前のボランティア 配置] 文化センターの児童館で 子育てボランティアによる 子育てひろばを新たに開 始(2か所・2回/月)				各児童館の実情に応じた 児童館指導員の配置 平日の午前中に子育てボ ランティアを配置し、子育 て家庭が集い、交流や情 報収集ができる場の提供
平成22年度の 担当課評価	[児童館指導員]児童館指導員の配置については現時点での実施目標は達成されていますが、できれば土日も配置するのが望ましいと考えます。 [平日午前のボランティア配置]文化センターの児童館を利用して子育てひろばを子育てボランティアにより実施することを検討しました。結果、平成23年度より2か所で実施します。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

96 学童クラブ(再掲)								児童青少年課
保護者が就労等により昼間家庭にいないおおむね小学校3年生までの児童の健全育成を行います。7ブロック制による事業運営により、効率化と育成水準の向上を図り、入会希望児童全員を受け入れます。また、市民ニーズに合った学童クラブのあり方を検討します。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	22施設 1,765人	入会率 100% 22施設 1,761人(見込み)	入会率 100% 22施設 1,700人	入会率 100% 22施設 1,782人(見込み)				育成環境の充実
平成22年度の 担当課評価	入会率については、入会希望者の全員受け入れているため100%となっています。入会児童数については、近年の開発事業等の影響により就学児童数が急激に伸びてきましたが、大規模な開発事業も少なくなり、就学児童数の伸びも抑制された結果、見込みを下回っています。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

97 小学生のためのブックトーク「よむよむ探検隊」(再掲)							図書館	
小学4～6年生を対象に、テーマごとに楽しい本の紹介を行ないます。小学生にとって時間の余裕のある土曜日に設定することで、図書館の利用を促し、読書の楽しさを得てもらいます。							新規	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	策定時の目標
		実施目標	実績	実施目標	実績	実績	実績	
実施状況		年5回 55人	年5回 28人	年5回 55人				毎月1回年12回実施
平成22年度の 担当課評価	21年度にこの事業を開始し、徐々にではありますが常連になってきた子どもたちが増えてきています。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	ブックトーク開催日に図書館内や近くの会場で他のイベントと重なることがあり、そういった回では参加者数が減少してしまったと思われます。またブックトークの認知度も充分ではないため参加者が少ないことも原因だと思われます。							
備考								

98 中高生ひろば事業							児童青少年課	
様々な興味を引き出し、より本格的な活動へのきっかけとして、中学生や高校生を対象とした講座等を充実します。また、中高生を中心とした活動組織の確立に向けた支援を行います。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	策定時の目標
		実施目標	実績	実施目標	実績	実績	実績	
実施状況	4コース 延べ 20回 ヒップホップダンス講座 イラスト講座 延べ 119名	4コース 延べ 20回	3コース 延べ 14回 延べ 88名	中高生による実行委員会 を立ち上げ、企画・運営す る。				5コース 延べ 25回
平成22年度の 担当課評価	書道教室、ヒップホップダンス講座、お菓子作り講座を実施し、参加者からは好評でした。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	3月下旬に予定していた講座を東日本大震災の影響で中止したため、コース数が少なくなりました。							
備考								



99 子どもふれあいボランティア								子育て支援課 保育課
子どもとふれあう機会として、子ども家庭支援センター及び保育所で中学生・高校生のボランティアを募集し受け入れます。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	保育所 子ども家庭支援センター 「しらとり」ポップコーン会場	子ども家庭支援センター 「たち」及び保育所で中 学生の体験ボランティアの 受け入れ	子ども家庭支援センター 「たち」及び保育所で、 職場体験ボランティアの中 学生66人、夏のボランティ ア体験の中高生99人、そ の他637人を受け入れました。	子ども家庭支援センター 「たち」及び保育所で、 職場体験ボランティアの中 学生、夏のボランティア体 験の中高生等の受け入れ				保育所 子ども家庭支援センター 「たち」「しらとり」 ポップコーン会場
平成22年度の 担当課評価	中高生のボランティアを出来るだけ受入れ、子どもと接する機会を提供しました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

100 おはなし会(再掲)								図書館
おはなし(ストーリーテリング)や絵本の読み聞かせを通し、読書の楽しみ、想像力をはぐくむきっかけとします。平成21年度からは、中央図書館は毎週木曜日(小学生対象の回に参加がほとんどないことより1日2回から1回へ(但し、小学生向けに別事業実施))及び第1土曜日、地区図書館は毎月1回、図書館職員と市民であるおはなしボランティアとの協働で行っています。また、中央図書館では、夏と冬各1回、おたのしみおはなし会を行っています。								重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	中央図書館 1,691人 夏のおたのしみおはなし 会 (中央)1回 58人(内子ど も58人) 冬のおたのしみおはなし 会 (中央)1回 35人(内子ど も35人) 地区図書館 35回 342人 (内子ども275人)	中央図書館 1,000人(内 子ども950人) 夏のおたのしみおはなし 会 (中央)1回 49人(内子ど も43人) 冬のおたのしみおはなし 会 (中央)1回 45人(内子ど も40人) 地区図書館 128回 1,000 人(内子ども800人)	中央図書館 782人(内子 ども588人) 夏のおたのしみおはなし 会 (中央)1回 49人(内子ど も43人) 冬のおたのしみおはなし 会 (中央)1回 29人(内子ど も25人) 地区図書館 125回 1,109 人(内子ども822人)	中央図書館 1,000人(内 子ども950人) 夏のおたのしみおはなし 会 (中央)1回 60人(内子ど も50人) 冬のおたのしみおはなし 会 (中央)1回 50人(内子ど も40人) 地区図書館 139回 1,000 人(内子ども800人)				中央図書館 1,700人 夏のおたのしみおはなし 会(中央)1回 60人 (内子ども60人) 冬のおたのしみおはなし 会(中央)1回 60人 (内子ども60人) 地区図書館 144回 2,500人 (内子ども2,380人)
平成22年度の 担当課評価	今年度から全館で保護者も参加可能とし、より充実した内容のおはなし会ができるようにしました。また、中央図書館で開催している土曜日のおはなし会の開始時間を10時30分から11時に変更し、より来館者数が多い時間に合わせて参加者が増加するよう計画しました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	塾や習い事などで小学生の参加者が毎年減少しています。特に小学校へのPRが弱かったため、開催日時などの周知が広がらず目標数より下回ってしまったと思われます。また計画 停電などの影響により会が中止となり参加人数が減ったことも原因と考えられます。							
備考								

101	ちいさい子のおはなし会(再掲)	図書館						
1・2歳の乳幼児と保護者を対象に、絵本の読み聞かせや手遊び、わらべうたなどを行い、読書やことばの楽しさを知ってもらい、子どもと保護者のふれあいを促します。平成21年度から、中央図書館は毎月第2・4木曜日、地区図書館は各館毎月1回、市職員と市民によるおはなしボランティアと協働で実施しています。		重点						
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	中央図書館 24回 825人 (内子ども419人) 地区図書館 46回 942人 (内子ども488人)	中央図書館 23回 814人 (内子ども407人) 地区図書館 128回 1,700人 (内子ども850人)	中央図書館 22回 633人 (内子ども323人) 地区図書館 125回 1,563人 (内子ども831人)	中央図書館 24回 720人 (内子ども360人) 地区図書館 138回 1,900人 (内子ども950人)				中央図書館は現状維持 地区図書館 144回 2,880人 (内子ども2,440人)
平成22年度の 担当課評価	22年度から中央図書館ではおはなし会の後に絵本に関する「プチ講座」を開催し、絵本の紹介や子どもと絵本の関わりについて説明する機会を増やしました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	おはなし会同様に、PRが弱かったため目標数より下回ってしまったと思われます。また計画停電などの影響により会が中止となり参加人数が減ったことも要因と考えられます。							
備考								

102	赤ちゃん絵本文庫(再掲)	図書館						
3、4か月児及び1歳6か月児健康診査時に、絵本の読み聞かせやわらべうた、手あそびなどを実施し、保護者とともに読書へのきっかけとします。3、4か月児健康診査では、赤ちゃんの図書館利用カードの登録も行い、図書館利用への働きかけも行います。市職員とおはなしボランティアと協働で実施しています。		重点						
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	利用登録者数 927人 貸出人数 247人 貸出冊数 798冊	利用登録者数 950人 貸出人数 220人 貸出冊数 700冊	利用登録者数 917人 貸出人数 205人 貸出冊数 639冊	利用登録者数 950人 貸出人数 220人 貸出冊数 700冊				利用登録者数 1,300人 貸出人数 500人 貸出冊数 1,100冊
平成22年度の 担当課評価	職員とボランティアで専門的な講座を受講し、活動に関する必要な知識を積極的に学習しています。また検診に来た保護者への積極的な声かけなどもできるようになってきました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	受診者に対し、受付から受診までの短時間でのアピールが難しく目標をあとわずかではありますが達成できませんでした。							
備考								

103	図書館サービス(再掲)							図書館
		全13館で所蔵する資料を活用し、さらにインターネットやCD-ROMなど新たな媒体も活用しつつ、子どもに読書の楽しみを知らせ、また、子どもの学びや知りたいという好奇心に対応できるように、資料の充実や図書館の使いやすさへの工夫に取り組んでいきます。また、きめ細かい読書相談やレファレンスサービスを行うとともに、子どもの心をはぐくむ本との出会いの場として、PFI事業者も含め事業を展開していくなど、図書館ボランティアと協働しながら、また、学校と連携しながら図書館サービスの充実を行います。						重点
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	策定時の目標
		実施目標	実績	実施目標	実績	実績	実績	
実施状況	ブックトーク講習会 一般・教師等対象 全3回 21人 キャンペーン「たびたびよんでほんのたび」子ども対象 758人 夏休み読書キャンペーン「本の木だいすき！」子ども対象 917人 出前講座 計4回117人(内子ども11人) 学校への事業(ブックトーク等) 計4校 253人(内子ども200人)	学校司書教諭・指導補助員等へのブックトーク等研修 3回 キャンペーン「たびたびよんでほんのたび」子ども対象 772人 夏休み読書キャンペーン「本の木だいすき！」子ども対象 876人 出前講座 計4回100人 学校への事業 計4校	学校司書教諭・指導補助員等へのブックトーク等研修 3回 キャンペーン「たびたびよんでほんのたび」子ども対象 772人 夏休み読書キャンペーン「本の木だいすき！」子ども対象 876人 出前講座 計4回93人 学校への事業 計2校 164人(内子ども124人)	学校司書教諭・指導補助員等へのブックトーク等研修 3回 キャンペーン「たびたびよんでほんのたび」子ども対象 800人 夏休み読書キャンペーン「この本読んだかい？」子ども対象 900人 出前講座 計4回100人 学校への事業 計4校				キャンペーン 参加子ども人数 1,000人 夏休み読書キャンペーン 参加子ども人数 1,200人 出前講座 6回 学校への事業 6校
平成22年度の 担当課評価	春の子ども読書の日キャンペーンや夏休みのキャンペーンなどの恒例行事では、オリジナルパスポートや絵はがきなどを作成し読書活動の推進を継続して行っています。出前講座では実施後アンケートで多くの好評の声をいただきました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	各種キャンペーンについてはポスターや展示コーナー、カウンターで直接紹介を行いますが、アピール不足のため参加者が増えなかったと思われます。また22年度の「学校への事業」は依頼が2校しかなかったため目標値が達成できませんでした。今年度は学校への積極的な講座紹介などを行っていきたいです。							
備考								

104	ジュニアスポーツ指導者育成							生涯学習スポーツ課
		子どもたちがスポーツを心から楽しむために、スポーツ精神を理解し、指導、助言、伝授する指導者の資質の向上のための支援事業を行います。						重点
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	策定時の目標
		実施目標	実績	実施目標	実績	実績	実績	
実施状況	ジュニアスポーツ指導者講習会年3回 177人参加 「スポーツ事故と法的責任」参加者数 105人 「子どものからだづくり(実技)」参加者数 38人 「栄養学」参加者数 34人	ジュニアスポーツ指導者講習会 2回実施	ジュニアスポーツ指導者講習会 実施回数 0回	ジュニアスポーツ指導者講習会 2回実施				指導者の資質向上
平成22年度の 担当課評価	今年度は目標を達成することができず残念でしたが、来年度以降、指導者のニーズにあった講習会を実施していきたい。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	新しい企画を計画していましたが、適切な講師が見つからなかったため。							
備考								

## 目標8 ワーク・ライフ・バランスの推進

105	ワーク・ライフ・バランス啓発事業							市民活動支援課
		<p>仕事と生活のバランスを個人のライフステージに応じて実現することができるように、ワーク・ライフ・バランスの考え方を男女共同参画の視点から普及・啓発します。また、ワーク・ライフ・バランスの普及・啓発を広く推進するためには、市職員の意識啓発だけではなく、市内外への働きかけを行っていく必要があります。今後は市職員の意識啓発に向けた調査を進めていくとともに、市内外への啓発・支援等を長期的な視野で進めていきます。</p>						重点
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	講演会及び職員研修を実施 本市職員を対象としたワーク・ライフ・バランス啓発パンフレットの作成・配布 ワーク・ライフ・バランスに関する情報の収集・提供	各種事業等の中で、ワーク・ライフ・バランスをテーマにした内容の講演会等を実施します。	ワーク・ライフ・バランスをテーマに男女共同参画週間記念講演会を実施しました。	各種事業等の中で、ワーク・ライフ・バランスをテーマにした内容の講演会等を実施します。				男女共同参画の視点から、時勢に応じたワーク・ライフ・バランスの講座等の積極的な実施 市職員の意識調査や市内外への啓発・支援等の実施
平成22年度の 担当課評価	講演会1回実施。受講者22名のため、今後参加者増のための努力が必要であると考えます。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

106	一般事業主行動計画策定の推進							子育て支援課
		<p>「次世代育成支援対策推進法」では、301人以上(平成23年4月1日以降は101人以上)の労働者を雇用する事業主は、一般事業主行動計画を策定し、速やかに労働局に届けることとなっております。300人以下(平成23年4月1日以降は100人以下)の場合は、同様の努力義務があるとしていますが、努力義務企業に対して一般事業主行動計画を策定するよう啓発していきます。また、一般事業主行動計画の認定を受けた市内企業を市のホームページなどで公表していきます。</p>						新規
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況		一般事業主行動計画の認定を受けた企業を市のホームページで公開します。	一般事業主行動計画に関することや、その認定を受けた企業を市のホームページで公開しました。	一般事業主行動計画に関することについてホームページで情報提供し、啓発に努めます。				努力義務企業の「一般事業主行動計画」策定促進
平成22年度の 担当課評価	府中市ホームページにおいて、一般事業主行動計画に関することや、その認定を受けている企業の一覧表(東京都労働局HPへのリンク)を公開し、啓発に努めました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

107 特定事業主行動計画の推進								職員課
「次世代育成支援対策推進法」では、国や地方公共団体の機関に対して、特定事業主としての取組みを行動計画に示すことを義務付けています。府中市では、府中市特定事業主行動計画後期計画を策定し、その取組みを実行することともに、市のホームページなどで公表していきます。								重点
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	出産支援休暇(2日以上取得)率80.6% 子育て意識啓発目的研修の実施 男性職員の育児休業取得1人 水曜日定時退庁の励行	制度や計画の周知(子育て関連制度のリーフレット作成・配付など) 育児休業者への職場に関する情報提供 水曜日の定時退庁の励行	制度や計画の周知(子育て関連制度のリーフレット作成・配付、職員報への関連記事の掲載) 育児休業者への職員報配付 水曜日の定時退庁の励行					出産支援休暇(2日以上取得)率100% 男性職員の育児休業取得者の増加
平成22年度の担当課評価	平成22年度は、後期計画の初年度であるため、特に制度や計画の周知に重点を置いた取組みを行いました。平成22年度では実施目標を達成していますが、制度や計画の周知については、今後も継続して取り組む必要があります。							
平成22年度目標を達成できなかった理由	*****							
備考								

108 子育て関連団体と地域とのネットワーク化(再掲)								子育て支援課
子育てに関わる団体等による組織を設け、団体間の情報交換や地域の実情に応じた取組みを支援します。								重点
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	地域子育てひろば活動団体との情報交換	子育てひろば団体交流会の実施	子育てひろば団体交流会を実施し、202組、399人の親子が参加しました。	子育てひろば団体交流会の実施				ひろば会議の継続並びに子ども家庭支援センター運営協議会における子育て関係団体と地域のネットワーク化
平成22年度の担当課評価	市内で子育てひろばを実施している方達と共催で、ルミエール府中において「ひろげよう！子育てひろばのわ」をテーマに交流会を開催しました。							
平成22年度目標を達成できなかった理由	*****							
備考								

## 目標9 安全・安心のまちづくりの推進

109 ユニバーサルデザインの推進							地域福祉推進課	
ユニバーサルデザインを「情報面」、「意識面、制度面」、「物理面」の視点で考え、市民とも協働しながら事業を推進し、高齢者や障害のある方だけでなく、子ども・妊産婦・子どもづれの方などすべての人が安全で、安心して、かつ快適に暮らせるまちづくりを推進します。 施設整備の際には、子どもにも分かりやすい案内表示や子どもでも使用しやすいデザインにするなど、子どもの視点到配慮して、子育て支援環境の整備をはかります。							重点	
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	施設整備事前協議件数 119件 福祉環境整備事業の助成 2件 バリアフリーマップの印刷 1,000部 福祉まつりでのPR活動の 実施	施設整備事前協議件数 120件 福祉環境整備事業の助成 3件 福祉まつりでのPR活動の 実施	施設整備事前協議件数 135件 福祉環境整備事業の助成 4件 福祉まつりでのPR活動の 実施	施設整備事前協議件数 120件 福祉環境整備事業の助成 3件 福祉まつりでのPR活動の 実施				子どもの視点に立ったデザイン の充実
平成22年度の 担当課評価	目標については達成できました。施設整備にあたっては、だれでもトイレ(ベビーベッド、ベビーチェアが整備されている)の設置を進めました。また、鉄道駅など多数の人が利用する施設ではエレベーターの設置を進め、子ども・妊産婦・子どもづれの方(ベビーカー利用者)が快適に暮らせるまちづくりを推進しました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

110 キッズデザインの啓発							子育て支援課	
子どもの視点に立った、子どもが安全で安心できる環境づくりを目指すキッズデザイン重視の事業を展開していくため、キッズデザインの普及・啓発に努めます。							新規	
区分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況		キッズデザインの内容の研究	キッズデザインの内容の研究	キッズデザインの啓発につ いての研究				関係機関に対し、キッズデ ザインの普及・啓発
平成22年度の 担当課評価	キッズデザインについて展示会(子ども未来とうきょうメッセ2010)などに参加し、研究を行いました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

111 自転車の安全利用の推進							地域安全対策課	
中学生を対象に、交通安全対策を通じて、生命の大切さを考える機会を提供します。スケアードストレイト教育技法(スタントマンによる交通事故を再現することで、自転車のルール違反がなぜ危険なのかを生徒に視覚的に理解させる)を実施し効果を高めます。 また、PTAの参加を得て、交通安全対策の充実を図ります。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	市立中学校 1校	市立中学校3校	府中市立第二中学校 府中市立第三中学校 府中市立第四中学校	市立中学校2校				市立中学校 全11校
平成22年度の 担当課評価	目標どおり3校で実施し、交通事故発生 of 具体的な状況の真に迫った演技により、交通事故の悲惨さ、恐ろしさを視覚的に訴え、交通安全教育に資することができました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

112 学校施設整備							総務課	
学校施設は、児童・生徒の学習や生活の場として、豊かな人間性をはぐむにふさわしく、快適で十分な安全性などを備えた安全・安心なものでなければなりません。このため、早急に施設の耐震化に取り組むとともに、新たなニーズに対応(ユニバーサルデザインを考慮)した教室の整備を推進します。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度 実施目標	平成24年度 実績	平成25年度 実績	平成26年度 実績	策定時の目標
		実施目標	実績					
実施状況	小学校耐震実施設計 4校 小学校耐震補強工事 4校 中学校耐震実施設計 2校	小学校耐震実施設計 5校 小学校耐震補強工事 6校 小学校改築工事实施設計 1校 中学校耐震実施設計 3校 中学校耐震補強工事 4校 中学校改築に伴う仮設校舎 築造及び既存校舎解体 1校	小学校耐震実施設計 5校 小学校耐震補強工事 6校 小学校改築工事实施設計 1校 中学校耐震実施設計 3校 中学校耐震補強工事 4校 中学校改築に伴う仮設校舎 築造及び既存校舎解体 1校	小学校耐震補強工事 5校 小学校改築工事 1校 中学校耐震補強工事 1校 中学校改築工事 1校				全ての学校の耐震化の終了
平成22年度の 担当課評価	学校施設耐震化事業実施計画(見直し後)どおりに耐震化を進めることができました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								

113 公園・緑地(再掲)

公園・緑地(再掲)							公園緑地課	
市内のどこからでも歩いていける範囲に公園があることを目指し、公園の整備を進めます。街区公園など地域に密着した公園は、コミュニティの場として活用できるように、地域の人びとが主体となった管理・運営を行います。また、子どもが安心して楽しく利用できるよう、安全に配慮した遊具等の設置や安全管理、砂場などの衛生管理を行います。							重点	
区 分	現状 (策定時)	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	策定時の目標
		実施目標	実績	実施目標	実績	実績	実績	
実施状況	181ha (市面積の6.34%)	老朽化した公園遊具などの改修や取替え、砂場の砂殺菌、補充作業を行う。	老朽化が激しい木製複合遊具の取替え(1公園)や砂場殺菌(全公園)を実施できました。	老朽化した公園遊具などの改修や取替え、砂場の砂殺菌、補充作業を行う。				子どもが安心して楽しく利用できる公園整
平成22年度の 担当課評価	限られた財源の中、すべての公園の老朽化した施設に対応することはできませんが、平成22年度目標は達成できました。平成23年度以降も老朽化が激しく、危険度の高いものから順次、改修等を行っていきます。また、2公園をモデル地区として地域の方と懇談会を行い、地域の方を管理・運営の主体とする公園管理マニュアルづくりを進めました。							
平成22年度目標を 達成できなかった理由	*****							
備考								